



老後資金はこれで万全!

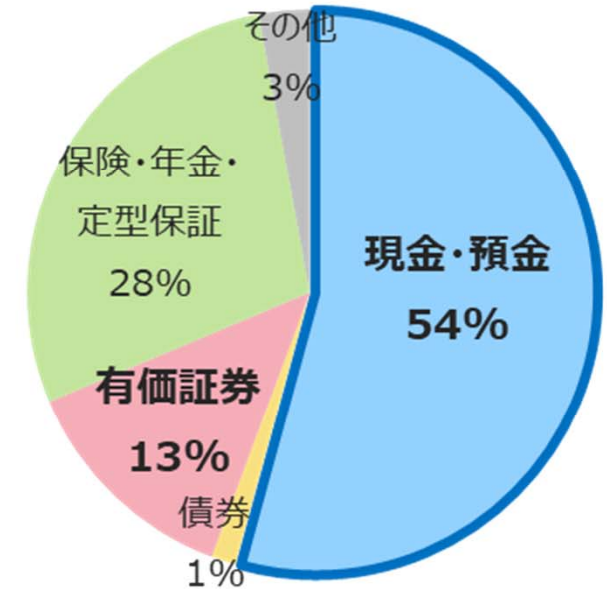
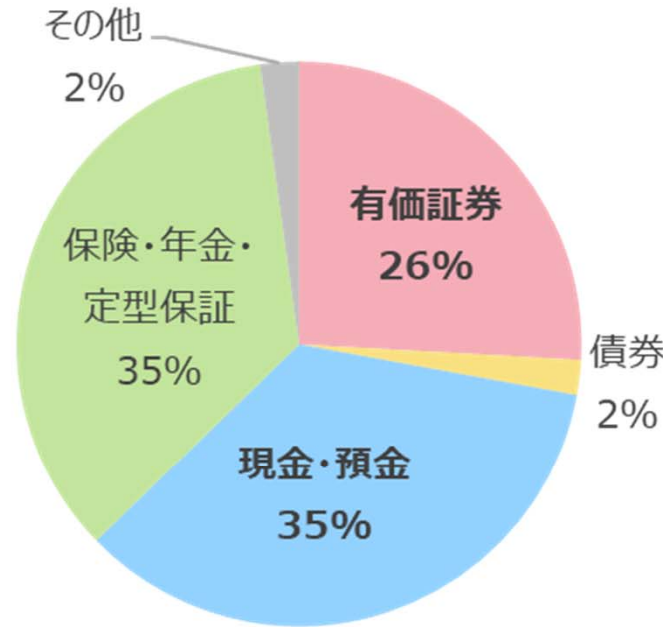
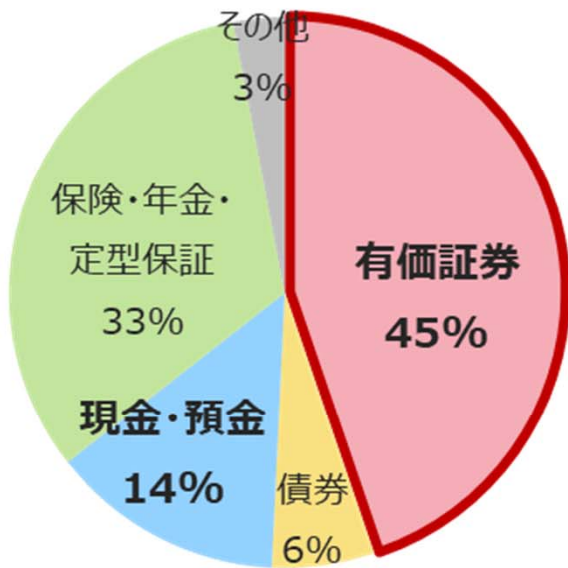
～人生が豊かになるお金の育てかた～

大和証券株式会社





家計資産構成の比較



※有価証券は、「投資信託」、「株式等」の合計。

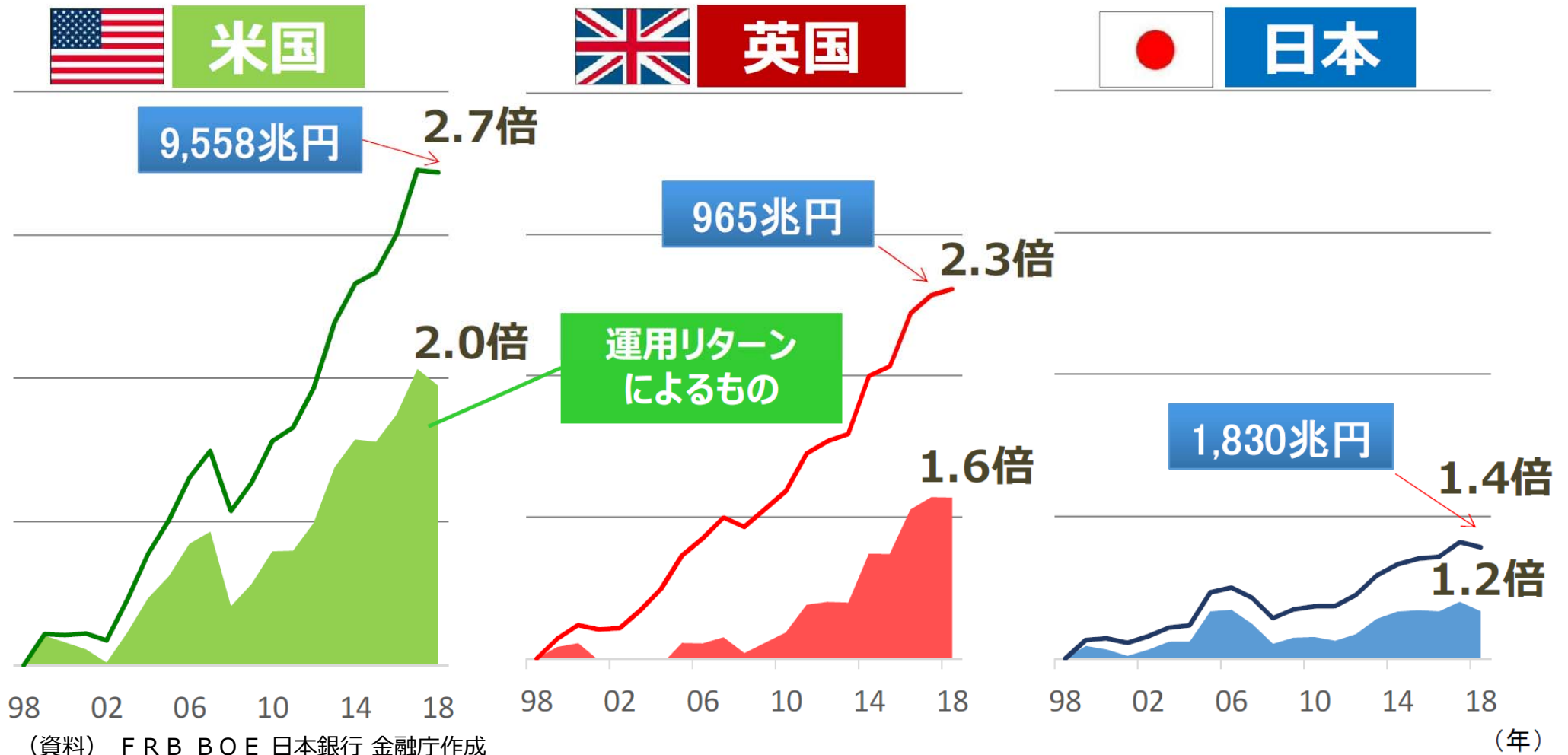
※「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債務証券」、「投資信託」、「株式等」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差。

※小数点第一位四捨五入（合計して100にならないことがあります。）

（出所） 日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」2020年8月21日公表を基に大和証券作成。



各国の家計金融資産の推移

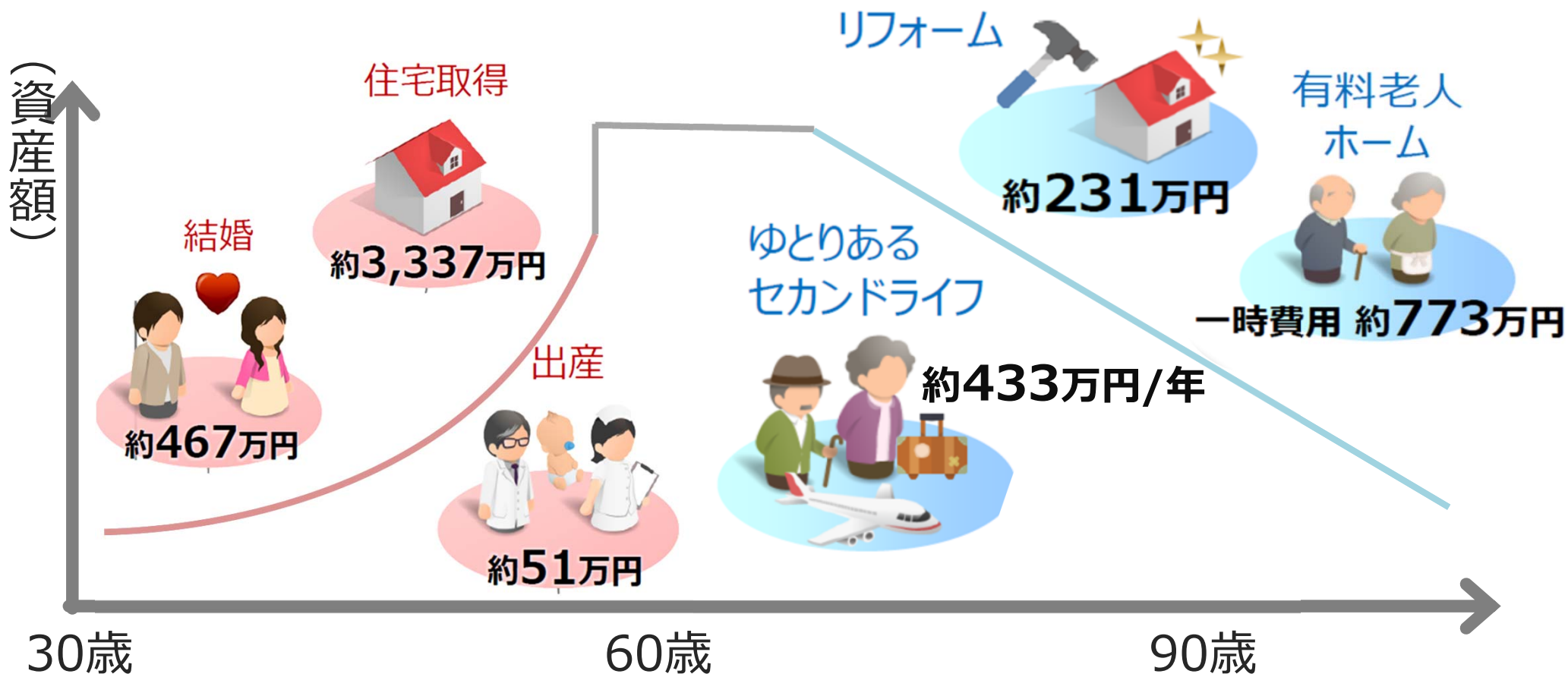


(出所) 金融庁「人生100年時代における資産形成」平成31年4月12日公表を基に大和証券作成。



ライフイベントにかかる費用と資産運用の考え方

人生とは切り離して考えることができないお金の話。この機会に一度、向き合ってみましょう。



※ <結婚> (株)カールマーケティングパートナーズ「ゼクシィ結婚トレンド調査2018調べ」結納・婚約～新婚旅行までにかかった費用 総額(推計値)より*大和証券株式会社にて四捨五入した値 <出産> 出産費用:「公益社団法人 国民健康保険中央会(平成28年度)」より 育児費用:「内閣府 平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査(調査結果)」より <住宅購入> 住宅金融支援機構「2017年度フラット35利用者調査」より <幼稚園～大学卒業までの19年間の教育費> 文部科学省「平成28年度子供の学習費調査」、独立行政法人 日本学生支援機構「平成28年度 学生生活調査結果」より <リフォーム> 国土交通省「平成29年度住宅市場動向調査」より <ゆとりあるセカンドライフ> 生命保険文化センター「生活保障に関する調査(令和元年度)」、厚生労働省「令和2年度の年金額改定について」、厚生労働省「平成29年簡易生命表」より <有料老人ホーム> 公益財団法人 全国有料老人ホーム協会「平成25年度有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅に関する実態調査研究事業報告書」より



人生100年時代と言われるのは？

2015年時点で65歳の男性



80歳まで生きる可能性

73%

90歳まで生きる可能性

35%

※厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」より試算したもの。

（出所）厚生労働省年金局「雇用の変容と年金（主として高齢期の就労と年金に関して）」2018年10月10日公表を基に大和証券作成。



人生100年時代と言われるのは？

2015年時点で65歳の女性



90歳まで生きる可能性

60%

100歳まで生きる可能性

14%

※厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」より試算したもの。

（出所）厚生労働省年金局「雇用の変容と年金（主として高齢期の就労と年金に関して）」2018年10月10日公表を基に大和証券作成。



老後の支出について

老後のゆとりある生活（夫婦二人）

36.1万円/月

夫婦二人分の老齢基礎年金を
含む標準的な年金額

22.1万円/月

+

老後のゆとりのための
不足額

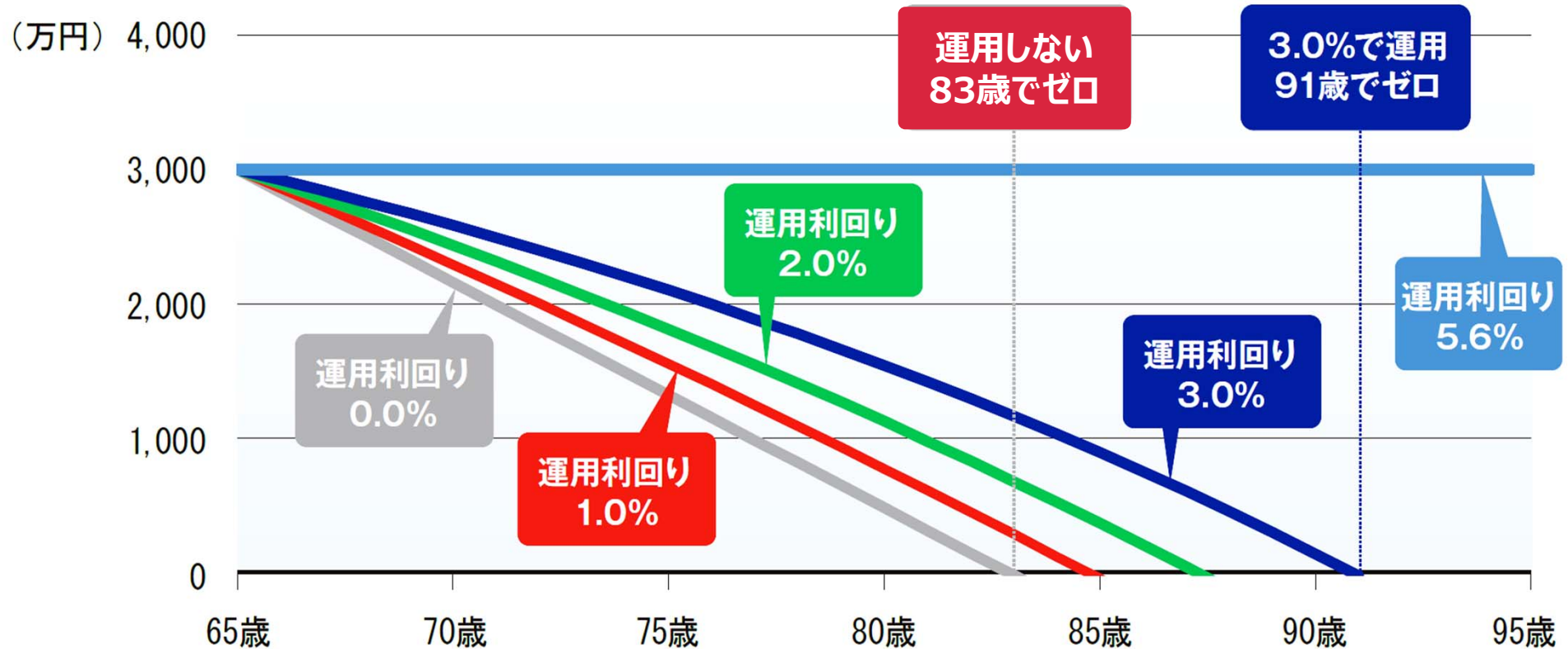
14.0万円/月

（出所）生命保険文化センター「生活保障に関する調査（令和元年度）」、厚生労働省「令和2年度の年金額改定について」



資産寿命の長期化を考えましょう

元金**3,000万円**を65歳から**毎月14万円**ずつ取り崩した場合、運用しなければ約18年で貯蓄はなくなってしまいます。



※運用利回りは年率換算です。税金等諸費用は考慮していません。

上記はあくまでシミュレーションであり、将来の投資結果を示唆・保証するものではありません。



長く資産形成していくうえで大切なこと

どの運用が一番魅力的だと思いますか？

1

+50%と▲**40%**を交互に運用

2

+20%と▲**10%**を交互に運用

3

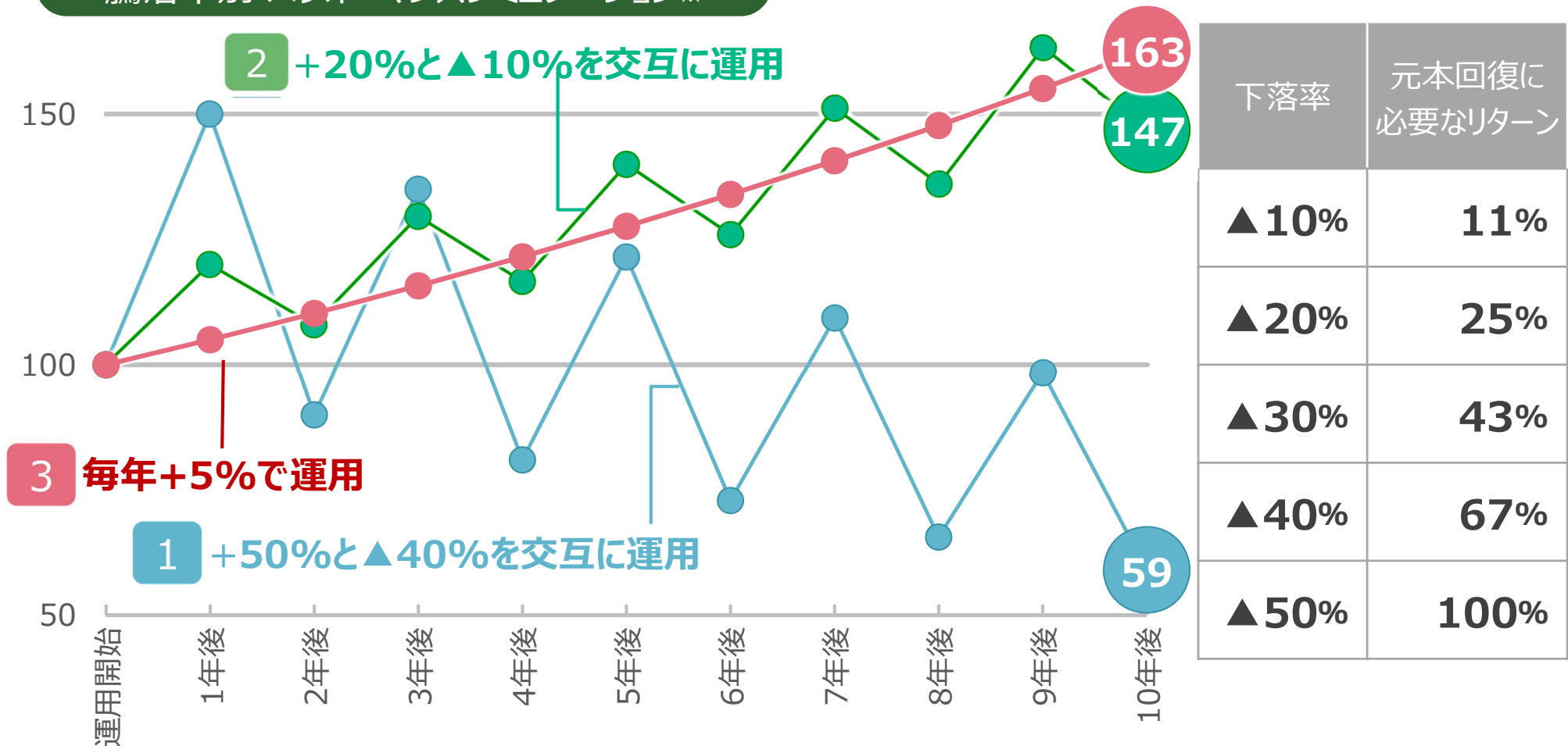
毎年**+5%**で運用



長く資産形成していくうえで大切なこと

中長期で効率的にリターンを獲得するためには、できるだけ大きな時価の下落を防ぐことが大切です。

騰落率別 パフォーマンスシミュレーション※



※ 運用開始年 = 100として試算。少数第一位は四捨五入 出所：スパークス・アセット・マネジメント作成資料

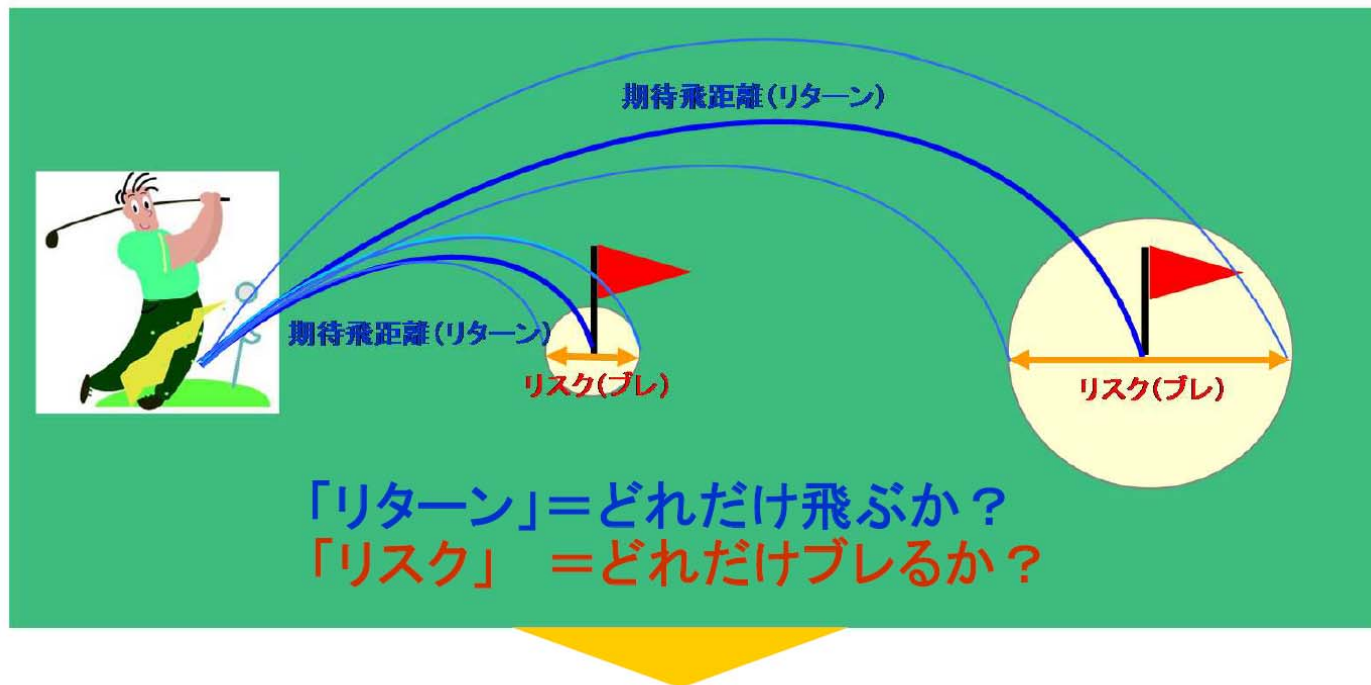


リスク・リターンとは

リスクとは、危ないという言葉ですが、金融においてのリスクは価格のブレ幅（変動）を意味します。

高いリターンを得ようとすれば高いリスクが存在します。

「リスク」と「リターン」をゴルフに例えると



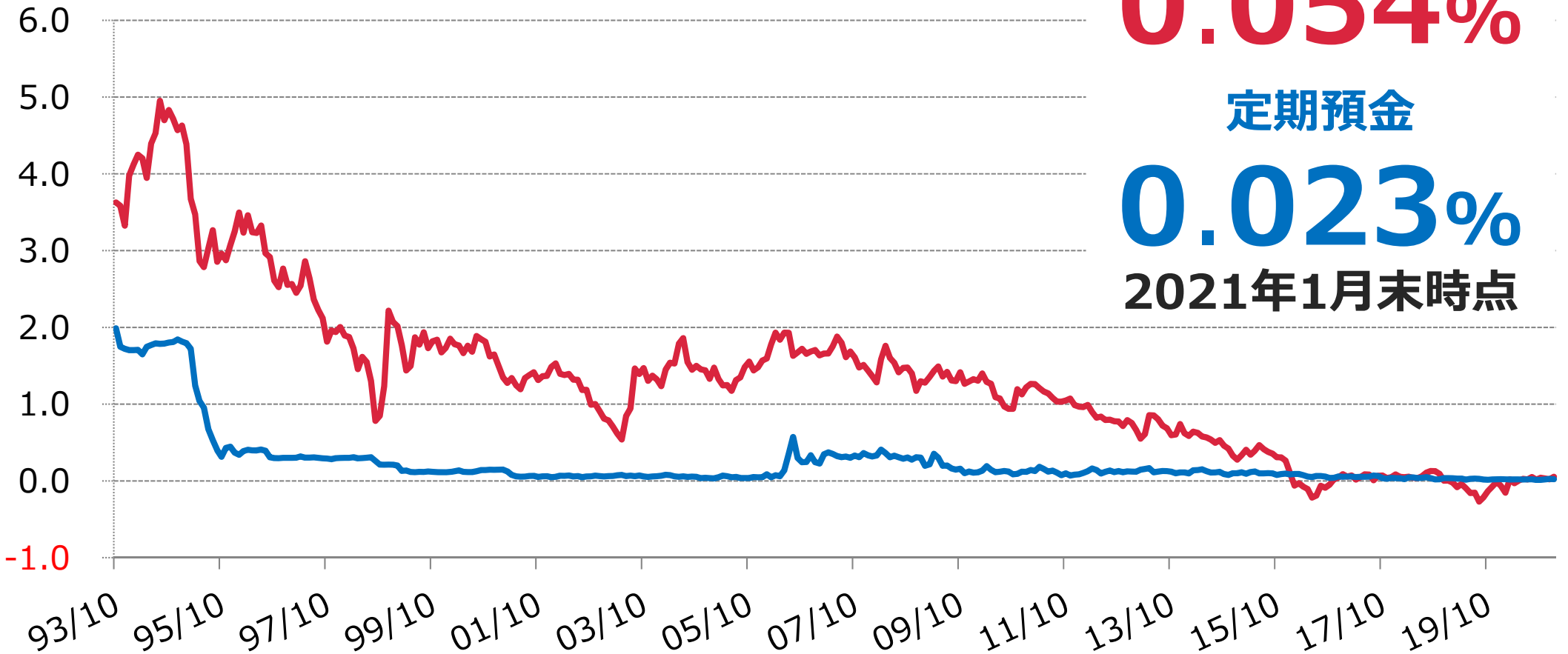
「リスク」と「リターン」はトレードオフ(相反)の関係！



長引く超低金利

10年国債利回りと定期預金金利の推移

(1993年10月末～2021年1月末)



10年国債利回り
0.054%

定期預金

0.023%
2021年1月末時点

(出所) 10年国債利回り：Bloomberg 定期預金金利：日本銀行HP 定期預金の預入期間別金利（新規受入分）
預入期間6ヶ月以上1年未満 / 預入金額3百万円以上1千万円未満



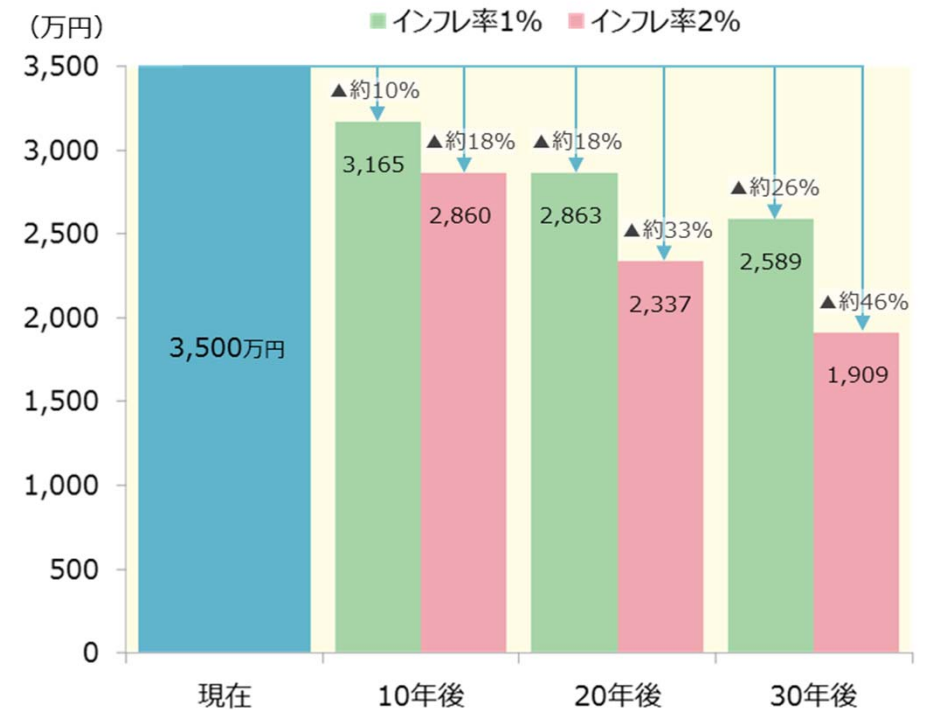
インフレリスク(物価上昇)について

身近な商品の価格上昇 (東京都区部)

| | 2015/3 | 2020/3 | 上昇率 (年率) |
|------------------------|----------------|----------------|-------------|
| 小麦粉 薄力粉、 袋入り1kg | 236円 (100%) | 263円 (111%) | +2.4% |
| コーヒー (外食) 喫茶店、1杯 | 414円 (100%) | 505円 (122%) | +4.1% |

(出所) 総務省 小売物価統計調査、東京都区部

インフレ率別 現金の実質的価値の推移



※上記はあくまでもシミュレーションであり、将来の投資結果を示唆・保証するものではありません。
 ※税金等諸費用は考慮していません。



運用は多様、マーケットは眠らない

- 世界の証券市場は、各国の市場が日中で取引されるため、24時間眠りません。
- 常に動いています。旅行中でもマーケットは刻々と動いております。



(出所) QUICK

1.当資料は、株式会社QUICK(以下QUICK)の情報画面をそのまま印刷したものです。2.当資料は、あくまで参考情報であり、特定銘柄の投資勧誘や推奨を目的としたものではありません。3.当資料に含まれる情報の一切の知的財産権は、QUICKおよびその情報源に帰属します。4.当資料の情報は信頼できると考えられる情報源から得ておりますが、正確性および信頼性等を保証するものではありません。5.当資料のご利用にあたっては、上記の内容をご了解下さい。万が一、ご利用者に不利益が生じた場合でもQUICKおよび情報源は一切責任を負いません。6.当資料の複製は禁止します。(c)2012 QUICK Corp. All Rights Reserved.



より良い資産運用とは？

- 日々の値動きに、あまり一喜一憂しない
- 売り買いのタイミングに、あまり煩わされない
- 物価上昇分程度の資産価値を維持したい

このような運用方法があれば、ご興味ありませんか？

キーワード

国際分散投資

長期投資

アセット・
アロケーション

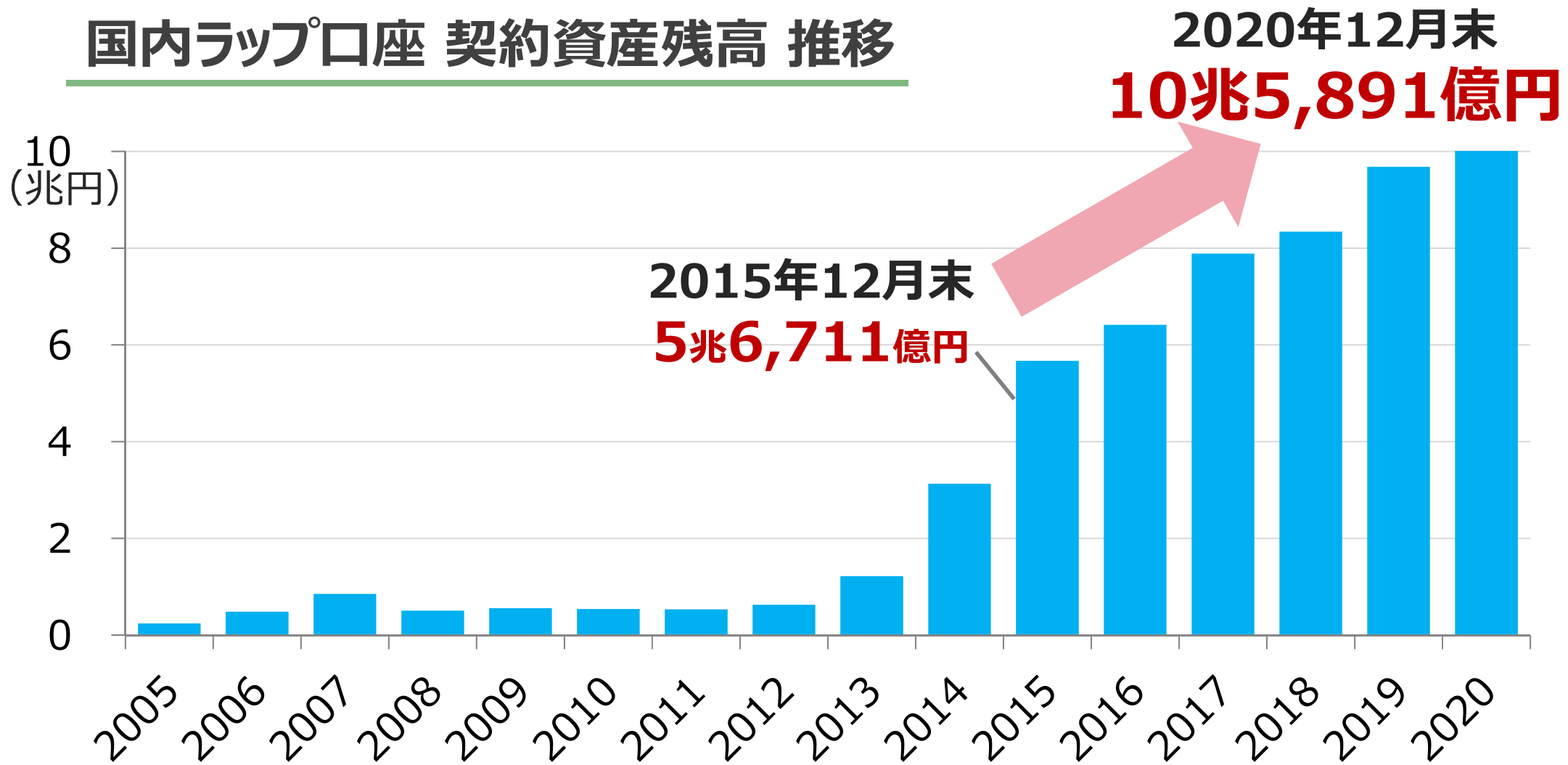
大和証券にはございます。次のページ以降をご覧ください。

国際分散投資の効果と ダイワファンドラップ



急速に拡大するラップ口座残高

国内ラップ口座 契約資産残高 推移



(出所) 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料 (2020年12月末時点) より、大和証券作成



「ファンドラップ」とは

「ファンドラップ」とは、
値動きの異なる複数の投資信託(ファンド)
をひとつに包んで(ラッピングして)、
その運用・管理を
専門家に任せることができる
新しい資産運用サービスです。

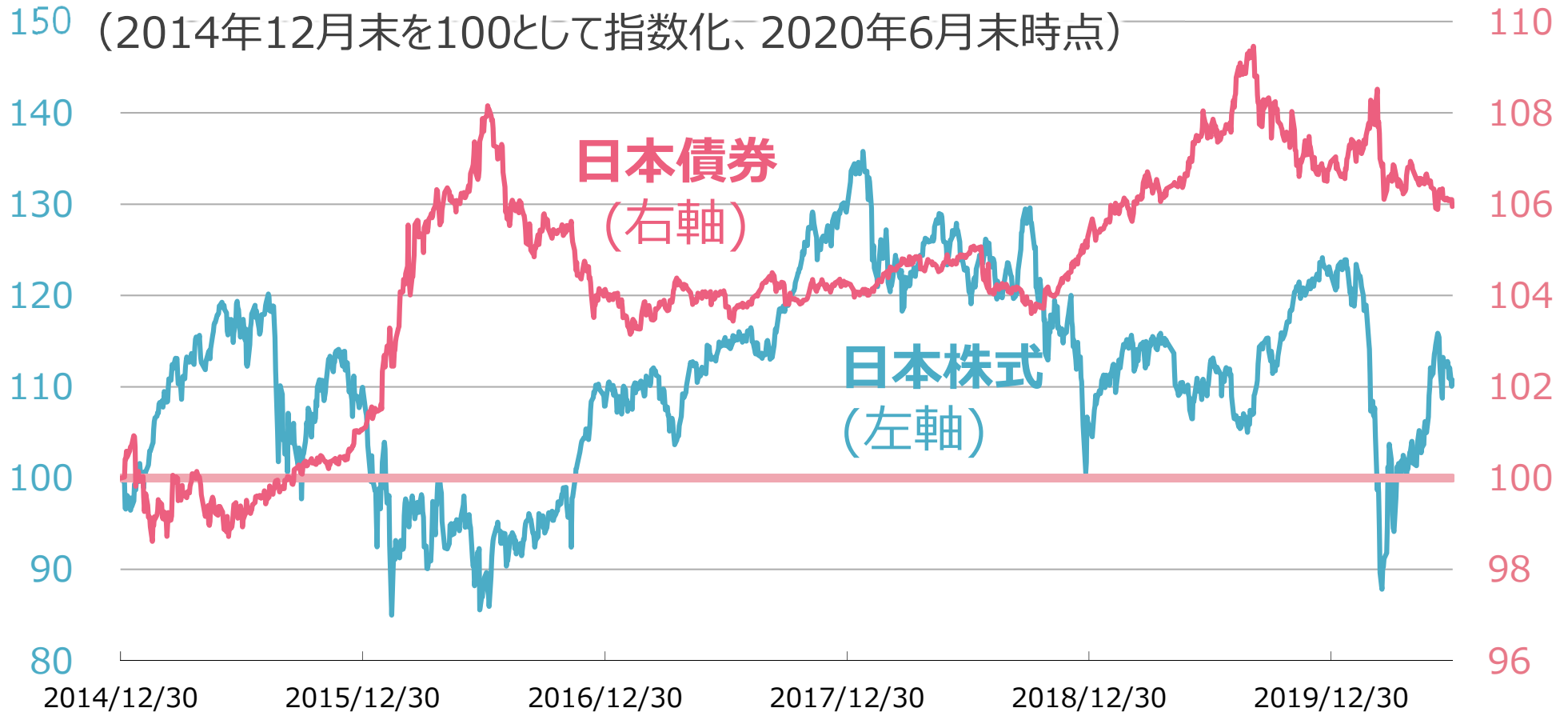


ファンドラップの投資対象イメージ



「ファンドラップ」とは

個別資産の値動き（イメージ）



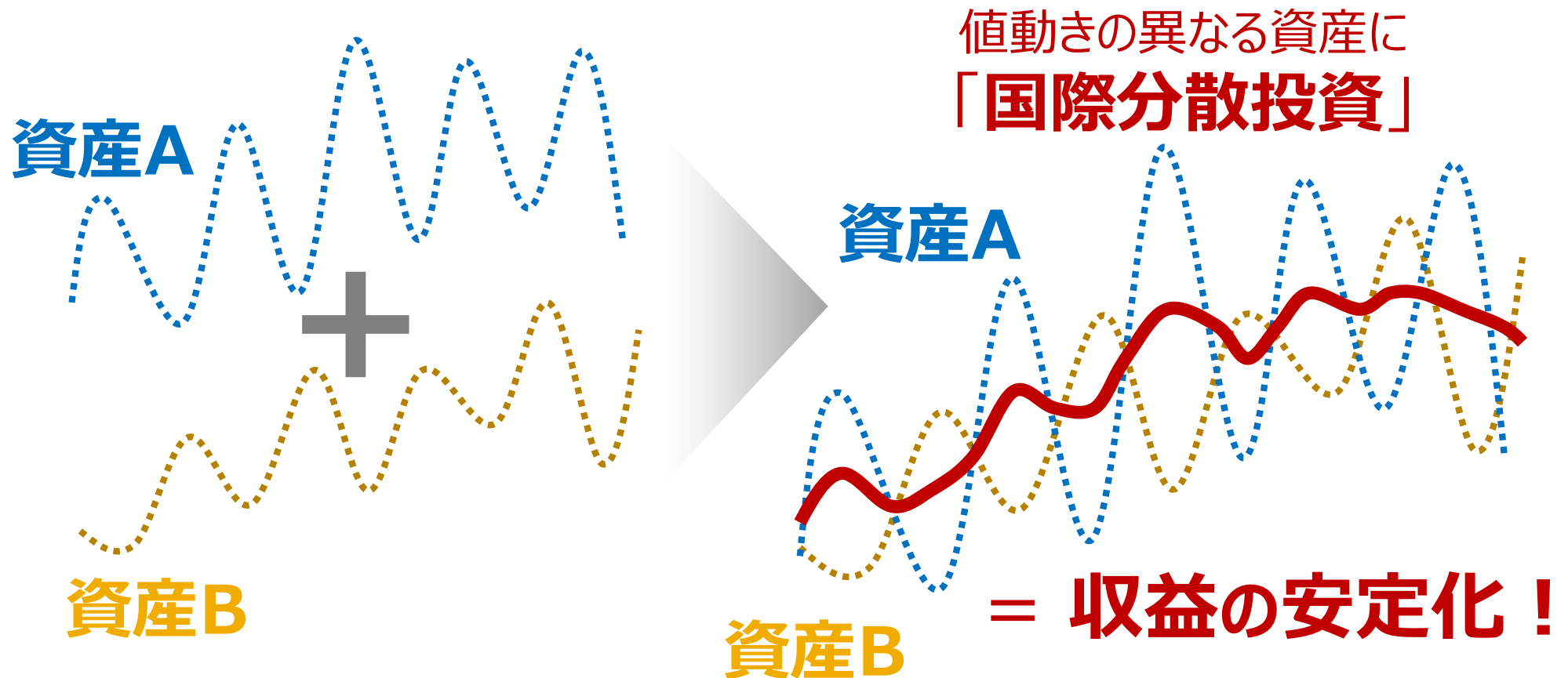
(出所) Bloomberg

※ 日本株式はTOPIX、日本債券はダイワ・ボンド・インデックスを用いて算出



「ファンドラップ」とは

個別資産の値動き（イメージ）



(出所) Bloomberg

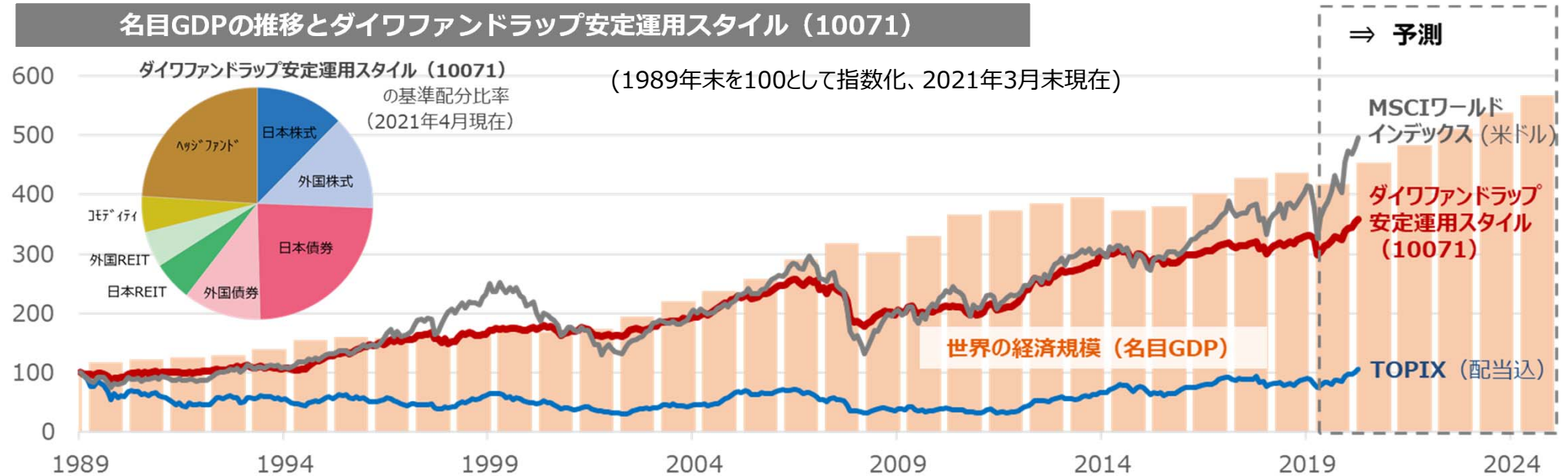
※ 日本株式はTOPIX、日本債券はダイワ・ボンド・インデックスを用いて算出



「国際分散投資」の意義

- ファンドラップとは、国際分散投資を手軽に行なえる新しいカタチの資産運用サービスです。
- ファンドラップを通じて行なう国際分散投資は、個別資産の短期的な価格変動リスクを抑えながら、中長期的な世界経済全体の拡大成長に伴う、資産全体の安定的な成長が期待できる運用手法と考えられています。

名目GDPの推移とダイワファンドラップ安定運用スタイル（10071）



【世界経済成長率の推移と見通し】（前年比、%）

| 地域 | 1989年 | 1994年 | 1999年 | 2004年 | 2009年 | 2014年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 世界 | 3.8 | 3.3 | 3.5 | 5.4 | -0.1 | 3.5 | 2.8 | -4.4 | 5.2 | 4.2 | 3.8 | 3.6 | 3.5 |
| 先進国 | 4 | 3.4 | 3.6 | 3.3 | -3.3 | 2.1 | 1.7 | -5.8 | 3.9 | 2.9 | 2.2 | 1.9 | 1.7 |
| 新興国 | 3.5 | 3.1 | 3.4 | 7.9 | 2.8 | 4.7 | 3.7 | -3.3 | 6 | 5.1 | 4.9 | 4.8 | 4.7 |

※名目GDP、MSCIワールドインデックス（米ドル）、TOPIX（配当込）、ダイワファンドラップ安定運用スタイル（10071）は1989年末を100として指数化表示。

※ダイワファンドラップ安定運用スタイル（10071）のグラフは、同じ配分比率のスタイルである、旧ダイワファンドラップの安定運用スタイル（0031）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、安定運用スタイル（0031）は現在新規契約でのお取り扱いはありません。一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行なった場合、運用コスト等は考慮していません。当資料は、2007年10月までは、インデックスと当初の配分比率、2007年11以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ専用投資信託の基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後予告なく変更することがあります。ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、2007年11月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。※当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：「グロブナル・インデックス」、外国株式：MSCIワールド・インデックス（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数

※データ出所：Bloomberg、Factset IMF WEO 2020年10月、Bloombergより大和証券作成 IMFの予測も含まれます



「分散投資効果」の検証

- 単一の投資対象に投資をした場合、運用成果は上下に大きくばらつきます。
- 分散投資は大きく損をすることも少ないので、長期で見れば運用成果が安定し、結果的にリターンの積み上げが期待できます。
- また、相対的に値動きの「ばらつき」が少ないため、個別資産の投資タイミングに左右されにくい投資が可能です。

過去13年間の各資産の単年ベースの騰落率（円ベース、年末値比較）

| 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 累積リターン |
|---------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 日本債券 3% | 外国REIT 40% | 日本REIT 34% | 日本債券 2% | 日本REIT 41% | 外国株式 55% | 外国REIT 42% | 日本株式 12% | コモディティ 10% | 日本株式 22% | 日本REIT 11% | 外国株式 28% | 外国株式 11% | 外国株式 2.27倍 |
| 外国債券 -15% | 外国株式 38% | 外国REIT 6% | 外国債券 0% | 外国REIT 39% | 日本株式 54% | 日本REIT 30% | 外国REIT 2% | 日本REIT 10% | 外国株式 19% | 日本債券 1% | 日本REIT 26% | 日本株式 7% | 日本REIT 1.73倍 |
| 分散投資 -37% | コモディティ 29% | 分散投資 5% | 外国REIT -2% | 外国株式 32% | 日本REIT 41% | 外国株式 21% | 日本債券 1% | 外国株式 5% | 分散投資 7% | 外国債券 -4% | 外国REIT 23% | 外国債券 6% | 外国REIT 1.71倍 |
| 日本株式 -41% | 分散投資 18% | コモディティ 4% | 分散投資 -9% | 分散投資 24% | 分散投資 31% | 外国債券 16% | 外国株式 -1% | 分散投資 4% | 外国REIT 6% | 分散投資 -5% | 日本株式 18% | 日本債券 -1% | 日本株式 1.61倍 |
| 日本REIT -49% | 日本株式 8% | 日本債券 2% | 外国株式 -9% | 日本株式 21% | 外国REIT 24% | 分散投資 16% | 分散投資 -3% | 外国REIT 3% | 外国債券 5% | 外国REIT -8% | 分散投資 16% | 分散投資 -2% | 分散投資 1.54倍 |
| コモディティ -52% | 外国債券 7% | 日本株式 1% | コモディティ -12% | 外国債券 20% | 外国債券 23% | 日本株式 10% | 外国債券 -5% | 日本債券 3% | コモディティ 1% | 外国株式 -10% | コモディティ 11% | コモディティ -12% | 外国債券 1.41倍 |
| 外国株式 -53% | 日本REIT 6% | 外国株式 -2% | 日本株式 -17% | コモディティ 15% | コモディティ 16% | 日本債券 4% | 日本REIT -5% | 日本株式 0% | 日本債券 0% | コモディティ -12% | 外国債券 6% | 外国REIT -12% | 日本債券 1.26倍 |
| 外国REIT -56% | 日本債券 1% | 外国債券 -13% | 日本REIT -22% | 日本債券 2% | 日本債券 2% | コモディティ -11% | コモディティ -26% | 外国債券 -3% | 日本REIT -7% | 日本株式 -16% | 日本債券 2% | 日本REIT -13% | コモディティ 0.47倍 |

分散投資 = 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産
インデックス詳細

日本株式：TOPIX（配当込） 外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）
日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合） 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

日本REIT：東証REIT指数（配当込）
外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）
コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（"RICI"）※

※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers, Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。



「長期投資」の有効性

1969年末からの各資産の推移

(1969年12月末を100として指数化、2021年4月末時点)



安定運用スタイルは、一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。4資産均等保有は内外株式・債券を均等に投資し、保有し続けた場合（リバランスなし）。運用コスト等は考慮していません。・当資料は、インデックスと現在の配分比率を用いて計算したもので、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。・ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。日本REITは03年3月以前、外国REITは89年7月以前はそれぞれ、日本株式、外国株式として計算しています。

当資料において使用するインデックスは、次の通りです。日本株式：TOPIX（89年以降は配当込）、日本債券：ダウ・ボンド・インデックス（80年12月までは金利推移から推計）、外国株式：MSCIコクai・インデックス（※）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（日本を除く）（85年以前は米国債利回り・為替推移から推計）（※※）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（日本を除く、配当込）、J-REIT：東証REIT指数（配当込）、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数（98年8月以降はRICI指数）、外国株式（為替ヘッジ有り）：MSCIコクai・インデックス（米ドルベース）と日米短期金利差より推計、外国債券（為替ヘッジ有り）：FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ指数）（85年1月までは米国債利回り・日米短期金利差からの推計）、外国REIT（為替ヘッジ有り）：S&P先進国REIT指数（日本を除く米ドルベース指数、配当込）と日米短期金利差から推計 ※各スタイルの計算において、スタイルによっては、MSCIマーキング・マーケット・インデックス又はFTSE RAFI マーキング・インデックスとの合成指数を用いている場合があります。 ※各スタイルの計算において、スタイルによっては、JPレバノンEMBIグローバル・ダイバーシファイド指数又はJPレバノンGPI-EM グローバル・ダイバーシファイド指数との合成指数を用いている場合があります。データ出所：Bloomberg、Factset、モニングスター



公的年金に学ぶ運用術

GPIFは、**法律上「長期的な観点からの安全かつ効率的な運用」を行なうことが要請**されており、「短期的」観点からパフォーマンスを見た場合、収益率がマイナスとなる局面もありますが、**「中長期的」観点から見ると堅調に推移**しています。

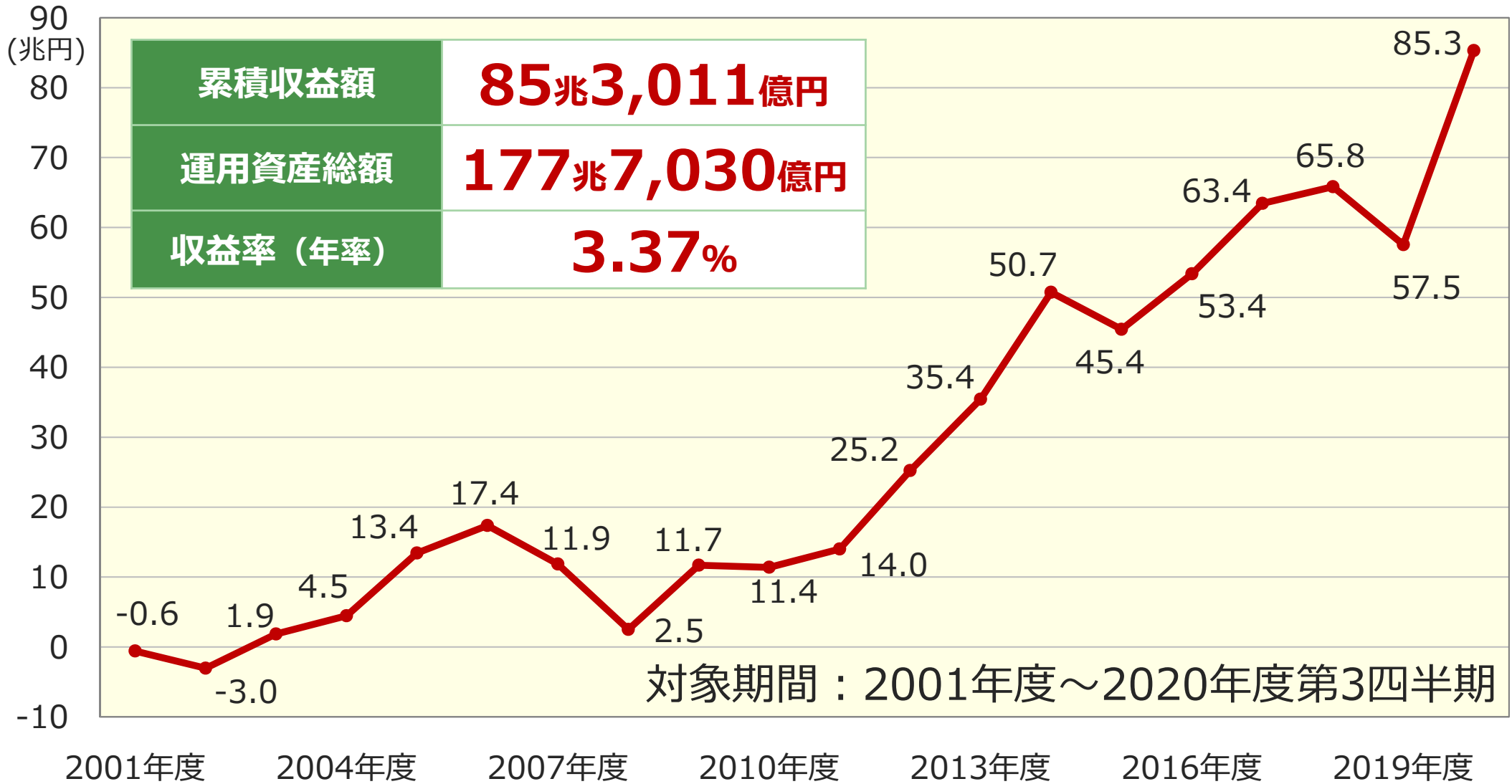
GPIFの重要指針：

1. 特性の異なる複数の資産へ**分散投資**を行なう
2. 長期的な観点から**基本となる資産構成割合を決めて維持**する

(出所) 年金積立金管理運用独立行政法人 ホームページより



公的年金に学ぶ運用術

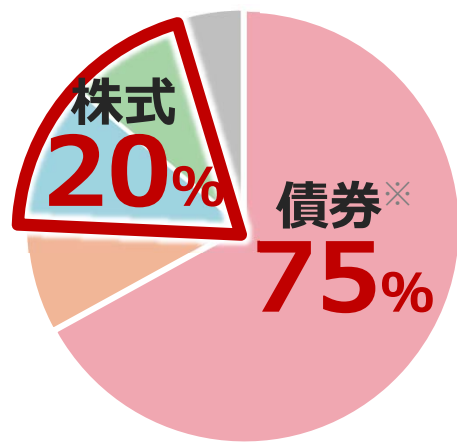


（出所）年金積立金管理運用独立行政法人「2020年度第3四半期運用状況（速報）」

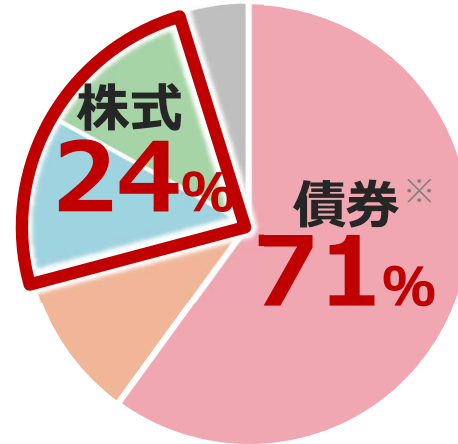


公的年金に学ぶ運用術

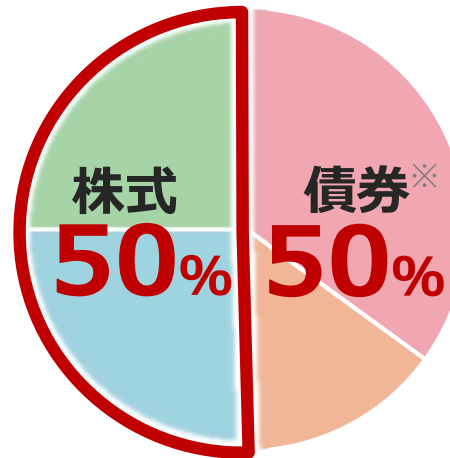
GPIFは、状況に応じてポートフォリオの見直しをしています。



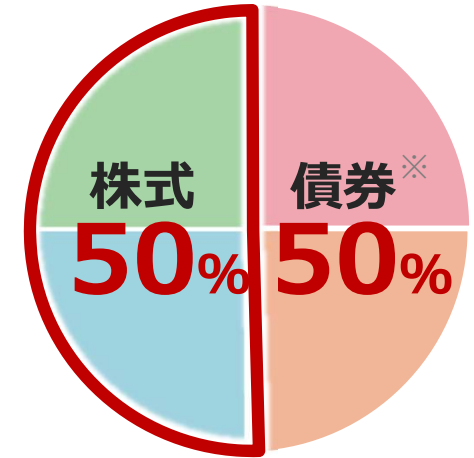
※内日本債券 **67%**



※内日本債券 **60%**



※内日本債券 **35%**



※内日本債券 **25%**

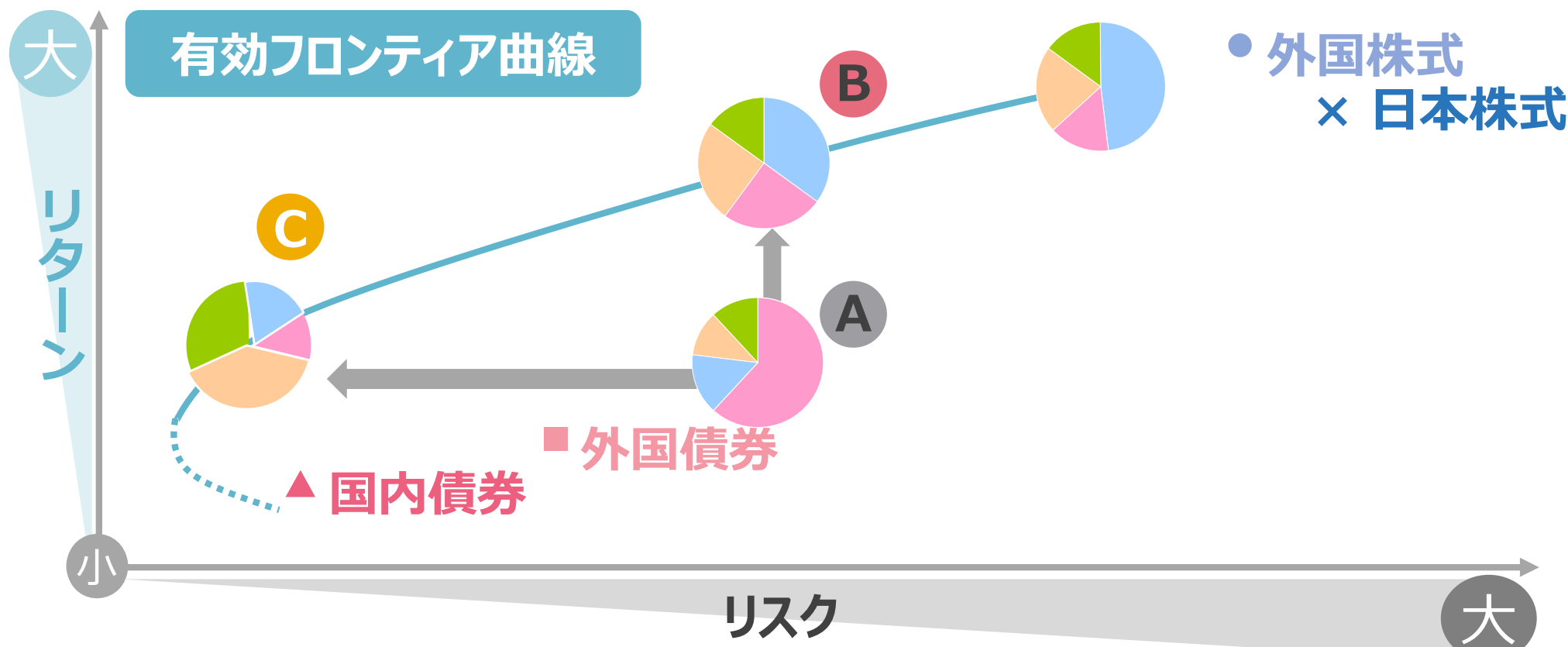
債券〔 ■ 日本債券 ■ 外国債券 〕 株式〔 ■ 日本株式 ■ 外国株式 〕 ■ 短期資産

(出所) 年金積立金管理運用独立行政法人 ホームページより

最適なポートフォリオの考え方(アセットアロケーション)



ポートフォリオ運用の考え方 (イメージ図)



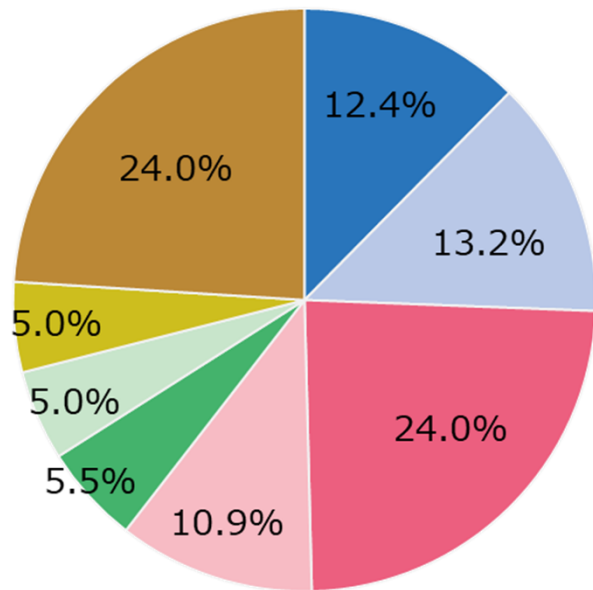
有効フロンティア上にあるポートフォリオで運用することが最も効率的です。



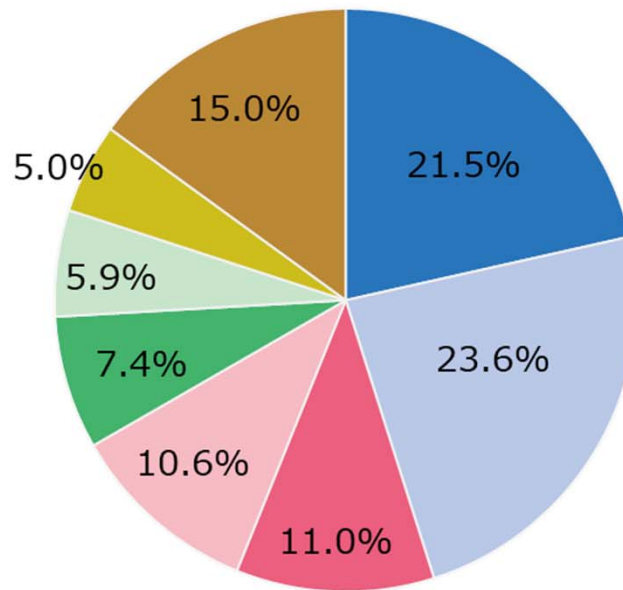
ご参考：主な運用スタイルのパフォーマンス

主な運用スタイルの配分比率（2021年4月時点）

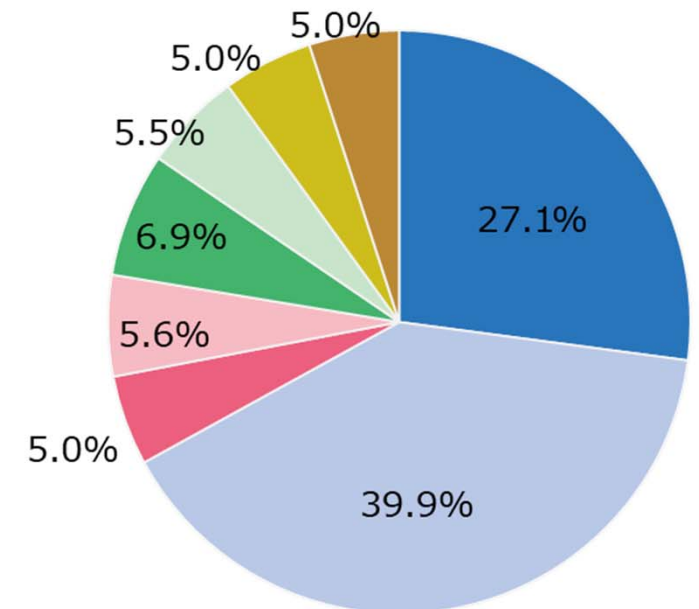
**安定運用スタイル
(10071)**
為替ヘッジ無し RCH※



**バランス運用スタイル
(10073)**
為替ヘッジ無し RCH



**積極運用スタイル
(10075)**
為替ヘッジ無し RCH



- 日本株式
- 外国株式
- 日本債券
- 外国債券
- 日本REIT
- 外国REIT
- コモディティ
- ヘッジファンド

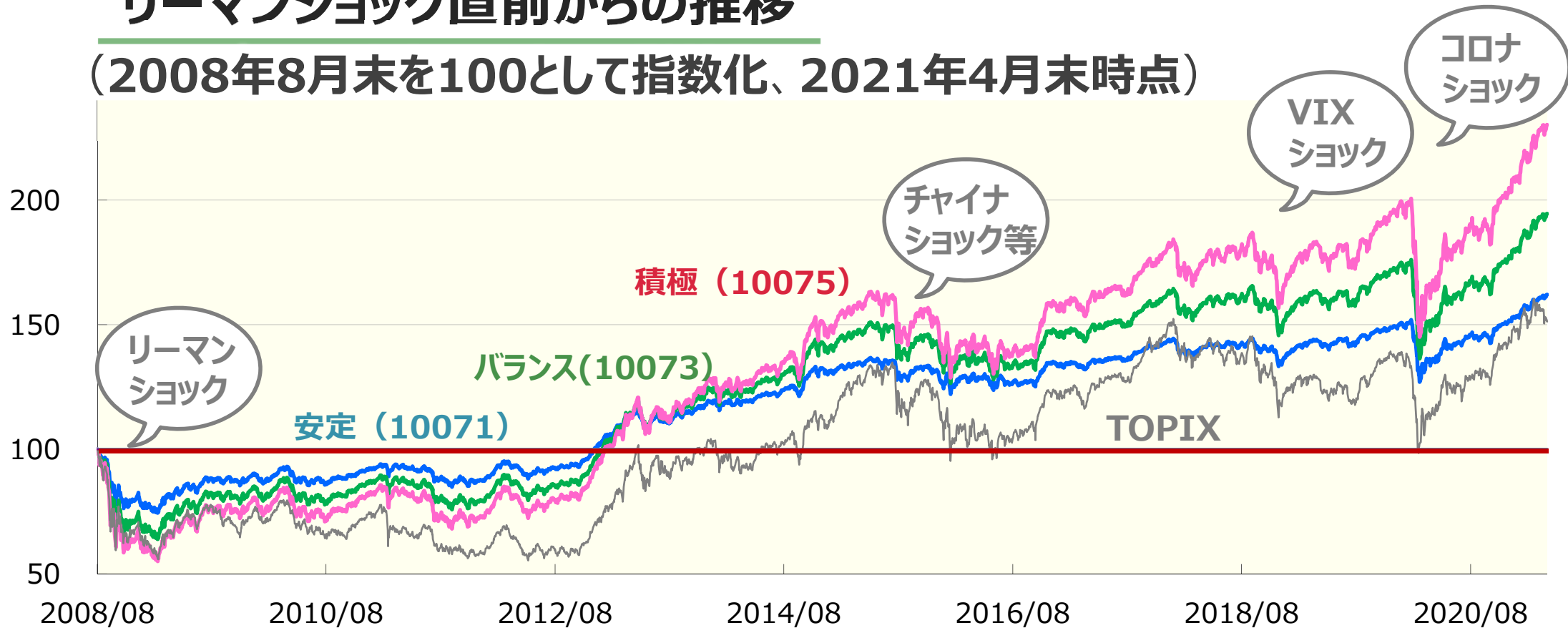
※スタイル名のRCHは、
R：REIT、C：コモディティ、
H：ヘッジファンドを含むスタイルを示す



ご参考：主な運用スタイルのパフォーマンス

リーマンショック直前からの推移

(2008年8月末を100として指数化、2021年4月末時点)

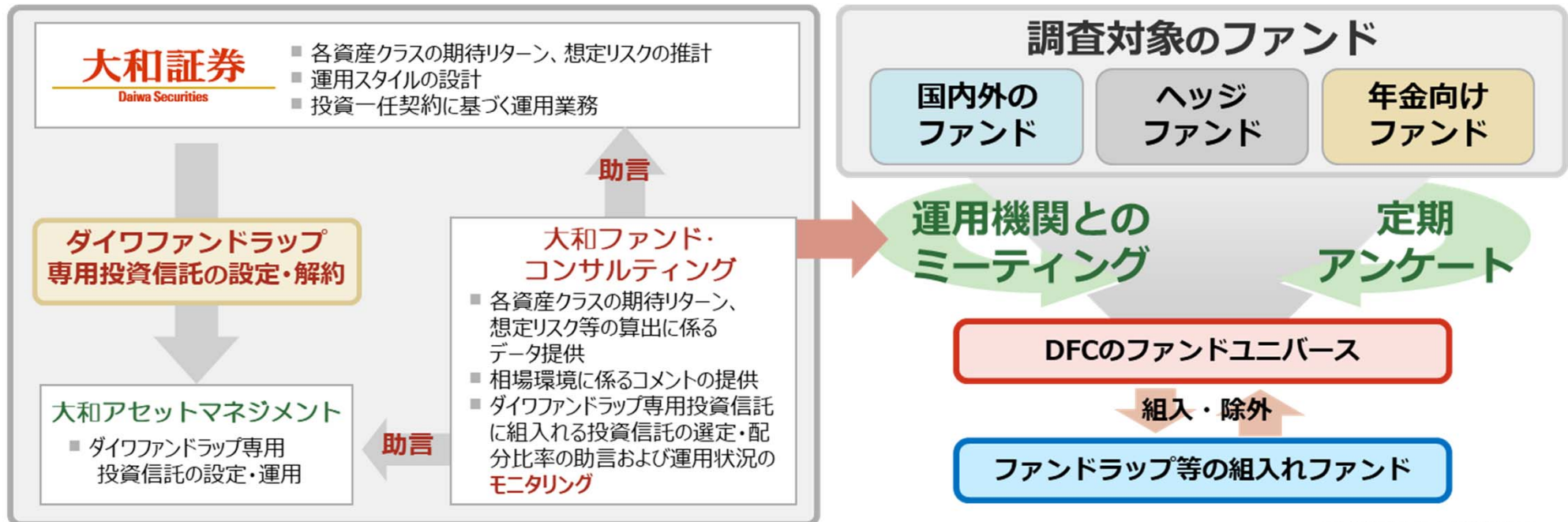


●上記のパフォーマンスは、現在の基準配分比率とインデックスなどを用いて一定の条件で計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、信託報酬やラップフィーなどは考慮していません。●各スタイルのパフォーマンス計算に用いた指数は、日本株：TOPIX(配当込み)、外国株式（為替ヘッジあり）：MSCIコクサイ・インデックス（米ドルベース）－日米短期金利差、外国株式（為替ヘッジ無し）：MSCIコクサイ・インデックスもしくはMSCIコクサイ・インデックス及びFTSE RAFI EM指数（円換算）の合成指数（運用スタイルによって異なります）を使用、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（DBI）総合、外国債券（為替ヘッジあり）：FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ指数）、外国債券（為替ヘッジ無し）：FTSE世界国債インデックス(日本を除く、円換算)もしくはFTSE世界国債インデックス(日本を除く、円換算)及びJPモルガンGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド指数(円換算)の合成指数（運用スタイルによって異なります）を使用、J-REIT：東証REIT指数（配当込み）、外国REIT（為替ヘッジあり）：S&P先進国REIT指数（日本を除くドルベース）－日米短期金利差、外国REIT（為替ヘッジ無し）：S&P先進国REIT指数(日本を除く、円換算) ●各スタイルのパフォーマンス計算を行うに当たり、外国株・外国債券・外国REITは前日の市場・当日の為替（TTM）を用いています。●比較用指数などは、日本国内のカレンダーベース（国内の祝日は反映されません）で作成しています。尚、投資信託の基準価額反映日と一致しない場合があります。●「Jim Rogers®」、「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®またはBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。データ出所：Bloomberg



ダイワファンドラップの運用体制

ダイワファンドラップはご覧のように、大和証券、大和ファンドコンサルティング、大和アセットマネジメントと、グループ各社が協力して運用を行なっております。運用の方法は、主に3つの手法を採っています。



DFC資料より大和証券作成

ファンドのモニタリングとは

過去、好成績でも運用成績が悪化することがあります

運用成績が悪くなった原因は？

市場環境等による一時的な影響 ➤ 継続

運用成績の不振が続く可能性 ➤ 入替や比率引き下げ

ファンドの分析・運用体制のチェックなどが必要

大和ファンド・コンサルティング（DFC）が、ファンドのモニタリング・運用評価を行ない、大和アセットマネジメントに助言します。

(株)大和ファンド・コンサルティング（DFC）

設立 2006年7月25日

事業内容 ファンド評価業務、運用助言業務
年金運用コンサルティング業務 など

組入れファンド一覧2021年3月現在



| セレクト・シリーズ名 | 組入投資信託名 | 運用会社 |
|------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 日本株式セレクト | J Flag 中小型株ファンド★ | シンプレクス・アセット・マネジメント |
| | T&D / マイルストン日本株ファンド★ | T&Dアセットマネジメント |
| | 大和住銀ニッポン中小型株ファンド★ | 三井住友DSアセットマネジメント |
| | ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド★ | アセットマネジメントOne |
| | 日本小型株フォーカス・ファンド★ | BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン |
| | ダイワ成長株オープン★ | 大和アセットマネジメント |
| | ニッセイPX日経400アクティブファンド★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | リサーチ・アクティブ・オープンF | 野村アセットマネジメント |
| | 損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド★ | SOMPOアセットマネジメント |
| | 日本長期成長株集中投資ファンド | ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント |
| | ニッセイ日本株グロースファンド★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | 国内高配当株フォーカス★ | 三井住友DSアセットマネジメント |
| | 日本株 EVI ハイアルファ★ | 三井住友DSアセットマネジメント |
| | グローバルX MSCIスーパーディビデンド-日本株式ETF | Global X Japan |
| 日本債券セレクト | マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM★ | マニユライフ・インベストメント・マネジメント |
| | 明治安田日本債券アクティブ・ファンド★ | 明治安田アセットマネジメント |
| | 国内債券スイッチング戦略ファンド★ | アセットマネジメントOne |
| | ネオ・ジャパン債券ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | 大和住銀日本債券アクティブ・ファンド★ | 三井住友DSアセットマネジメント |
| | りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ | りそなアセットマネジメント |
| | デンマーク・カバード債ファンド★ (為替ヘッジあり) | 大和アセットマネジメント |
| | フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジあり) | フィデリティ投信 |
| | ネオ・ヘッジ付債券ファンド★ | 大和アセットマネジメント |

| セレクト・シリーズ名 | 組入投資信託名 | 運用会社 |
|--|--|-----------------------------|
| 外国株式セレクト 外国株式セレクト エマーシングプラス | ニッセイ / アリアンツ・欧州グロース株式ファンド★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | UBSグローバル・オポチュニティー(除く日本)株式ファンド★ | UBSアセット・マネジメント |
| | ダイワ / ウェリントン・デュラブル・カンパニーズ戦略ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | コクサイ計量株式ファンド | ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント |
| | ニッセイ / インターミッド・グローバル株式ファンド★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | 米国グロース株式ファンド★ | ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ |
| | LM・QSグローバル株式ファンド★ | レッジ・メイソン・アセット・マネジメント※1 |
| | GIM米国大型バリュー株式ファンド★ | JPEルガン・アセット・マネジメント |
| | ダイワ / ウェリントン欧州株ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | ダイワ / GQGグローバル・エクイティ★ | 大和アセットマネジメント |
| | バリューパートナーズ高配当株式ファンド (香港籍、米ドル建) | バリューパートナーズ香港リミテッド |
| | ティー・ロウ・プライス・ファンズ・SICAV / グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド (クラスI投資証券) (円建) | ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド |
| | グローバル X ESG 経営企業 ETF (米国籍、米ドル建) | グローバル・X・マネジメント・カンパニー・エルエルシー |
| | ニッセイ / コムジエスト・新興国グロース株式ファンド★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | フィデリティ・ファンズ / フィデリティ・ファンズ・インスティテューショナル・エマーシング・マーケッツ・エクイティ・ファンド (クラスI投資証券) (円建) | FILファンド・マネジメント・リミテッド(パミュラ) |
| マン・ファンズ・ピーエルシー/マン・ニューメリック・エマーシング・マーケッツ・エクイティ (クラスI投資証券) (円建) | ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー | |

★ はファンド・オブ・ファンズ用 ※1 2021年4月1日にフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社に商号変更予定です。

※組入投資信託は「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」目論見書に記載されているものであり、今後、名称変更となる場合、繰り上げ償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。巻末の「お取引にあたっての手数料等およびリスクについて」をご覧ください。

組入れファンド一覧2021年3月現在



| セレクト・シリーズ名 | 組入投資信託名 | 運用会社 |
|---|--|---|
| 外国債券セレクト エマーシングプラス | LM・ブランディワイン外国債券ファンド★ | レグ・メイソン・アセット・マネジメント※1 |
| | ダイワ欧州債券ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | ダイワ米国債券ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | ダイワ / デカ欧州債券アクティブ・ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | ダイワ中長期世界債券ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジなし) | フィデリティ投信 |
| | ウエリントン・グローバル総合債券 (除く日本) ファンド クラスS受益証券 (円ヘッジ無、分配金有) (ケイマン籍、円建) | ウエリントン・マネー・マネジメント・ カンパニー・エルエルピー |
| | グローバル・コア債券ファンド (ケイマン籍、円建) | PGIMジャパン |
| | ブルーベイ欧州総合債券ファンド (ケイマン籍、円建) | ブルーベイ・アセット・マネジメント・ エルエルピー |
| | ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ・ダイワ・ コア・ボンド・ストラテジー・ファンド (ノンヘッジ・クラス) (ケイマン籍、円建) | グッゲンハイム・パートナーズ・ インベストメント・ マネジメント・エルエルシー |
| ロード・アベット・パスポート・ポートフォリオ・ ピーエルシー / ロード・アベット・ハイールド・ファンド (クラスI-円建て累積投資クラス) | ロード・アベット・アンド・ カンパニー・エルエルシー | |
| T. ロウ・プライス新興国債券オープンM ★ | 三井住友DSアセットマネジメント | |
| エマーシング・マーケット債券ファンド (ケイマン籍、円建) | PGIMジャパン | |
| J-REIT セレクト | ダイワ・J-R E I Tファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | S M D A M ・ Jリート・アクティブ・ファンド★ | 三井住友DSアセットマネジメント |
| 外国 REIT セレクト | ダイワ・グローバル R E I T ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | グローバル X スーパーディビデンド・世界リートETF (米 国籍、米ドル建) | グローバル・X・マネジメント・ カンパニー・エルエルシー |
| コモディ ティ セレクト | ゴールド・ファンド★ | 大和アセットマネジメント |
| | ダイワ"RICI"ファンド (ケイマン籍、米ドル建) | ダイワ・アセット・マネジメント (シンガポール) リミテッド |

| セレクト・シリーズ名 | 組入投資信託名 | 運用会社 |
|---------------------|--|---|
| ミッド ファンズ セレクト | 大和住銀FoF用ジャパン・マーケット・ニュートラル | 三井住友DSアセットマネジメント |
| | ニッセイ・グローバル・ボンド・オポチュニティ★ | ニッセイアセットマネジメント |
| | M&Aアービトラージ戦略ファンド★ | 東京海上アセットマネジメント |
| | マラソン新興国債券ファンド 市場リスクヘッジ・クラス (ケイマン籍、円建) | マラソン・アセット・マネジメント・エルピー |
| | ブラックロック・ストラテジック・ファンズ / ブラックロックUKエクイ ティ・アプソリュート・リターン・ファンド (円ヘッジクラスI投資証券) (円建) | ブラックロック・インベストメント・ マネジメント (UK) リミテッド |
| | JPMorgan・インベストメント・ファンズ / グローバル・マクロ・オポチュニティーズ・ファンド- JPMグローバル・マクロ・オポチュニティーズ (Iクラス) (円ヘッジ) (円建) | JPMorgan・アセット・マネジメント (UK) リミテッド |
| | イトン・バンス・インターナショナル (アイルランド) ファンズ・ ピーエルシー / イートン・バンス・インターナショナル (アイルラ ンド) グローバル・マクロ・ファンド (クラスI Acc JPY(H)投資証券) (円建) | イトン・バンス・グローバル・ アドバイザーズ・リミテッド |
| | ピクテTR / アトラス HJ JPY (円ヘッジ) (円建) | ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ、 ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド |
| | JPEMorgan・ファンズ / USオポチュニスティック・ロング・ショート・エクイティ・ファンド- US オポチュニスティック・ロング・ショート・エクイティ・ファンド (Iクラス) (円ヘッジ) (円建) | JPEMorgan・インベストメント・ マネー・マネジメント・インク |
| | ブラックロック・ストラテジック・ファンズ / ブラックロック・アメリカズ・ ダイバーシファイド・エクイティ・アプソリュート・リターン・ファンド (クラスI2円ヘッジ投資証券) (円建) | ブラックロック・インスティテューショナル・ トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、 |
| | ナインティーンセプティセブン・グローバル・マージャー・アービト ラージ・ジャパン・リミテッド / ナインティーンセプティセブン・グ ローバル・マージャー・アービトラージ・ジャパン・リミテッド (JPYクラス投資証券) (円建) | UBSオコーナー・エルエルシー |
| | アルマ・キャピタル・インベストメント・マネジメント/ アルマ・プラチナ フォー・ユー・ピー・エス・マルチ・ストラテジー・オル タナティブズ I5C-Iクラス投資証券 (円建) | UBSヘッジファンド・ ソリューションズ・エルエルシー |
| | ノムラ・ファンズ・アイルランド/ グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド I JPYヘッジドクラス投資証券 (円建) | 野村アセットマネジメント |

★ はファンド・オブ・ファンズ用 ※1 2021年4月1日にフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社にて商号変更予定です。

※組入投資信託は「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」目論見書に記載されているものであり、今後、名称変更となる場合、繰り上げ償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。巻末の「お取引にあたっての手数料等およびリスクについて」をご覧ください。



組入れファンドの追加・除外(一部抜粋) 2021年3月現在

| | 日本株式 | 日本債券 | 外国株式 | | 外国債券 | |
|----------|-----------------------------|--------------------------------|--|----------------------------------|---------------------------------|--------------------|
| | 日本株式セレクト | 日本債券セレクト | 外国株式セレクト | 外国株式セレクト エマージングプラス | 外国債券セレクト | 外国債券セレクト エマージングプラス |
| 2016年 | 日本小型株フォーカス・ファンド | NN国内債券ファンド | | ダイワ・アジア・オセアニア先進国株式ファンド | ダイワ米国債券ファンド | |
| | ダイワ成長株オープン | ダイワ日本国債ファンドーラダー20ー | | ニッセイ米国配当成長株ファンド | ブルーベイ欧州総合債券ファンド | |
| | ニッセイPX日経400アクティブファンド | 東京海上日本債F | | バリュー・パートナーズ高配当株式ファンド | | エマージング・マーケット債券ファンド |
| | リサーチ・アクティブ・オープンF | みずほ信クレジット・アクティブF | | ラザード・ユー・エス・エクイティ・コンセントレイテッド・ファンド | ダイワ/デカ欧州債券アクティブ・ファンド | |
| | 野村アセット マネジメントが運用 | | フィデリティ・ファンズ・インスティテューショナル・ エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド | | | |
| | | | ニッセイ/ポストン・カンパニー・米国株ファンド | | | |
| 2017年 | G I M日本株・ファンド | ネオ・ジャパン債券ファンド | | グローバル・ディスカバリー・ファンド | ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド | |
| | 損保ジャパン日本興亜ラーゼキャップ・バリュー・ファンド | 大和住銀日本債券アクティブ・ファンド | | U B Sグローバル・オポチュニティ (除く日本) 株式ファンド | ダイワ米ドル建て新興国債券ファンド | |
| | ダイワ好配当日本株投信Q | ダイワ・ダイナミック日本債券ファンド | | ダイワ/ウエリントン・デュラブル・カンパニーズ戦略ファンド | | |
| | | | | コクサイ計量株式ファンド | | |
| | | | | ニッセイ/インターミッド・グローバル株式ファンド | | |
| | | | | M F S外国株コア・ファンド | | |
| | | | | ダイワ・スマート米国株モメンタム・ファンド | | |
| | | | | ニッセイ米国配当成長株ファンド | | |
| | | | | LM・クリアブリッジ米国ミッド・キャップ・グロース・ファンド | | |
| | | | | T.ロウ・プライス・欧州株式オープン | | |
| 2018年 | | りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ | | ダイワ新興国株式F | ダイワ中長期世界債券ファンド | |
| | | 損保ジャパン日本興亜RMBSファンド | | 米国グロース株式ファンド | ヘアリング外国債券ファンドM | |
| | | | | ニッセイ/コムジエト・新興国グロース株式ファンド | | |
| | | | | マン・ニューメリック・エマージング・マーケット・エクイティ | | |
| | | | | ラザード・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド | | |
| | | | | LM・QSグローバル株式ファンド | | |
| | | | | GIM米国大型バリュー 株式ファンド | | |
| | | | | グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド | | |
| | | | | ラザード・ユー・エス・エクイティ・コンセントレイテッド・ファンド | | |
| | | | | グローバル・ディスカバリー・ファンド | | |
| 2019年 | 日本長期成長株集中投資ファンド | NN国内債券ファンド | | ダイワ/ウエリントン欧州株ファンド | ロード・アベット・ハイイールド・ファンド | |
| | SBI/アリアンツ日本株集中投資戦略ファンド | | | ダイワ/GQGグローバル・エクイティ | ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォ | |
| | スピリタス・ディスティレーションF | | | ダイワ/ウエリントン・グローバル・オポチュニティーズ・ファンド | | |
| | ニッセイ日本株グロースファンド | | | | | |
| 2020年 | 国内高配当株フォーカス | デンマーク・カバード債ファンド | | グローバルX ESG 経営企業ETF | | |
| | ダイワ・バリュー株・オープン | | | ダイワ・アジア・オセアニア先進国株式ファンド | | |
| | グローバルX MSCIスーパーディビデント-日本株式 | | | | | |
| 2021年 3月 | 日本株 EVI ハイアルファ | フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジあり) | | | フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジなし) | |
| | | ネオ・ヘッジ付債券ファンド | | | | |
| | | ダイワ日本国債ファンドーラダー20ー | | | | |



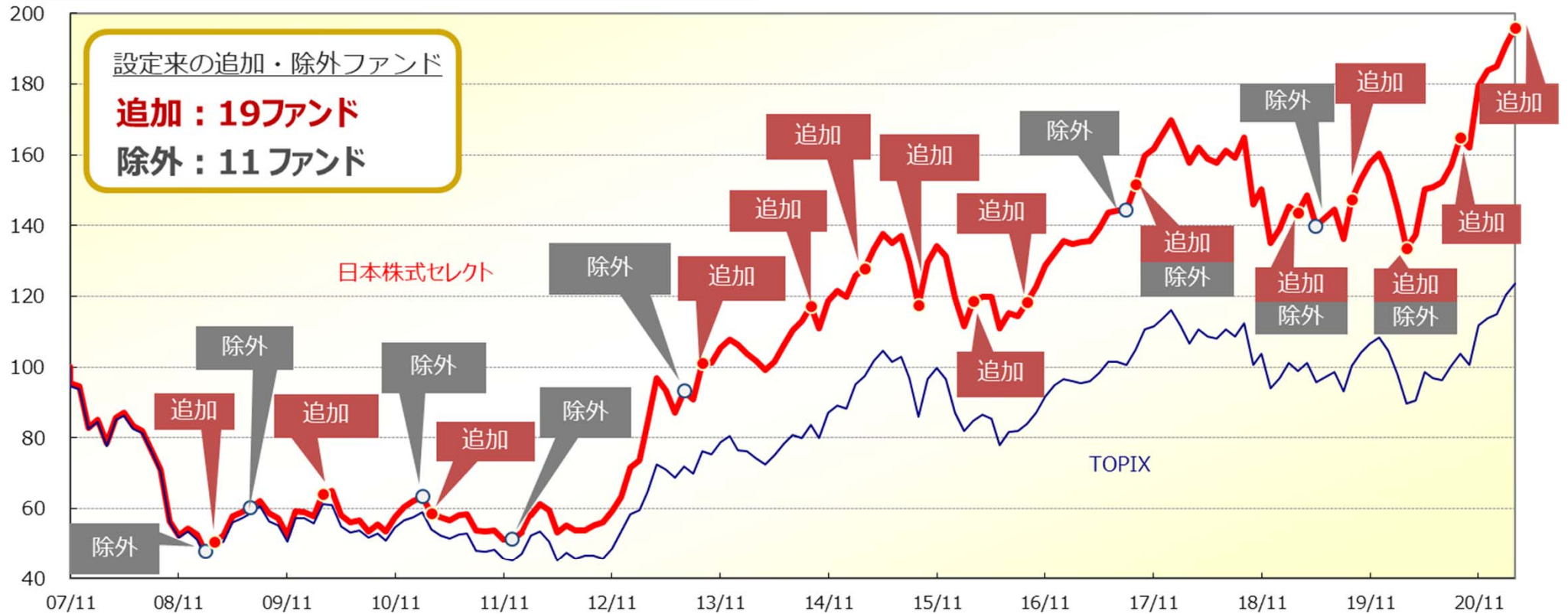
※ ダイワファンドラップ専用投資信託における組入れファンドの追加・除外は2008年から実施していますが、当資料では2016年以降のものを掲載しております。
 ※組入投資信託は「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」目論見書に記載されているものであり、今後、名称変更となる場合、繰り上げ償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合があります。



組入れファンドの追加・除外

各ファンドの市場との連動性や環境変化への対応、ファンドの状況などの分析をしながら、組み入れ比率を定めています。

日本株式セレクトの運用状況（2007年11月～2021年3月末）



主な調整局面

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| サブプライム問題 2007/7/26～ | リーマンショック 2008/6/6～ | ギリシャショック 2010/4/5～ | 震災・福島原発事故 2011/2/21～ | 欧州債務問題 2012/3/28～ | バーナンキショック 2013/5/22～ | アルゼンチンペソ急落 2013/12/30～ | チャイナショック 2015/8/10～ | Brexit 2016/6/13～ | VIXショック 2018/2/6～ | 米中関係悪化 2018/6/15～ | コロナショック 2020/2～ |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|

TOPIXはダイワファンドラップの評価基準日のデータを用いて算出。グラフ開始時点をもとに100として指数化。出所：大和アセットマネジメント株式会社、Bloomberg

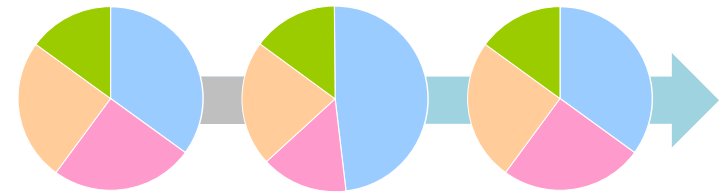
(2021年3月末時点)



ダイワファンドラップのメンテナンス

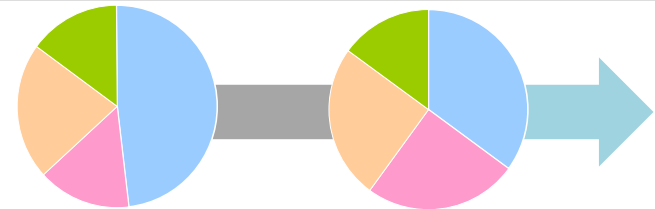
ダイワファンドラップのメンテナンス機能として、以下の2点があげられます。

01 | リバランス



相場変動により当初の資産配分比率から一定比率乖離した場合、当初の資産配分比率を維持するための売買をします。

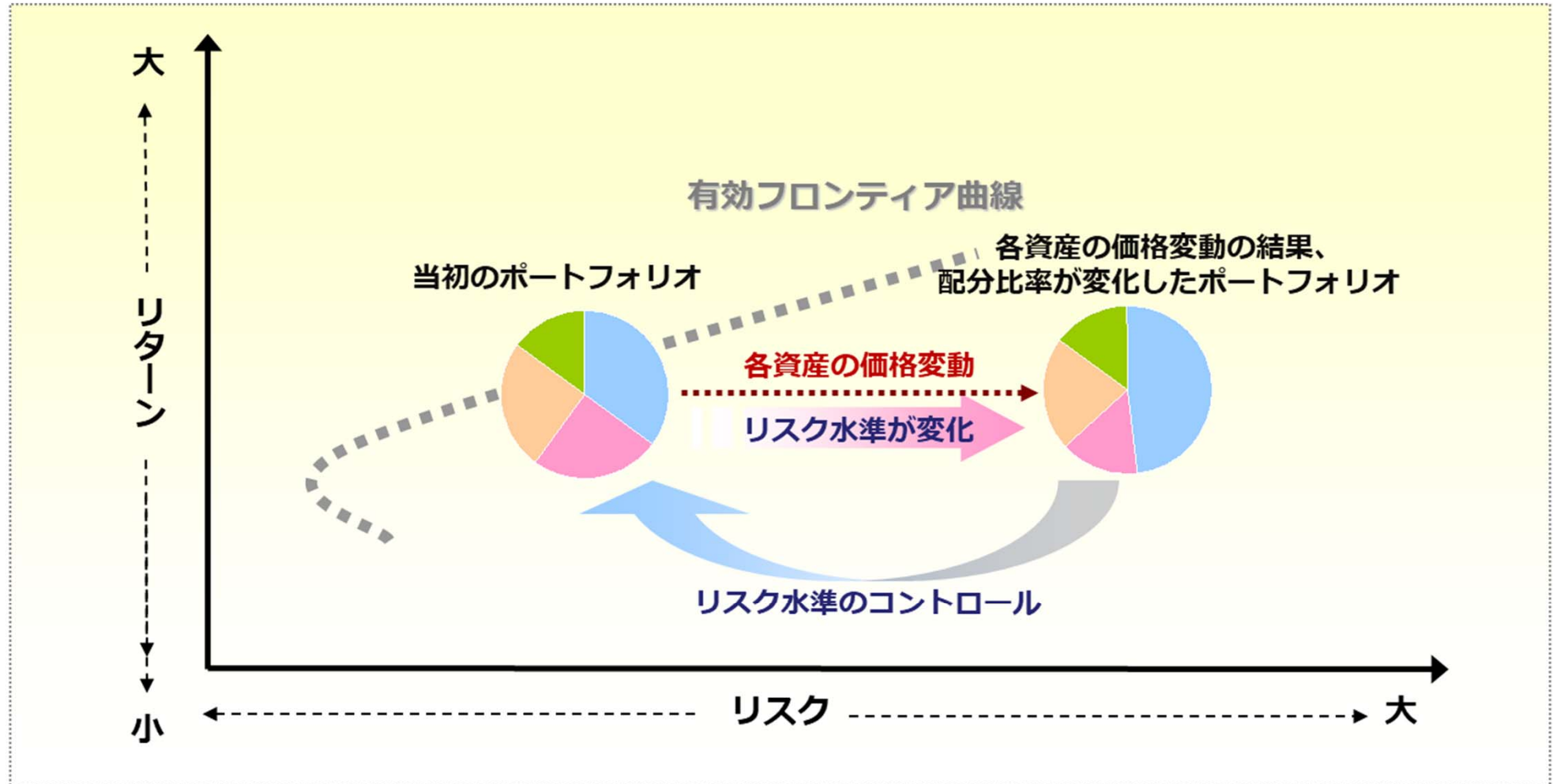
02 | 基準配分比率の変更



相場環境やマーケット環境の変化に対応し、「基準配分比率の見直し・変更」を行ないます。



ダイワファンドラップのメンテナンス:リバランス

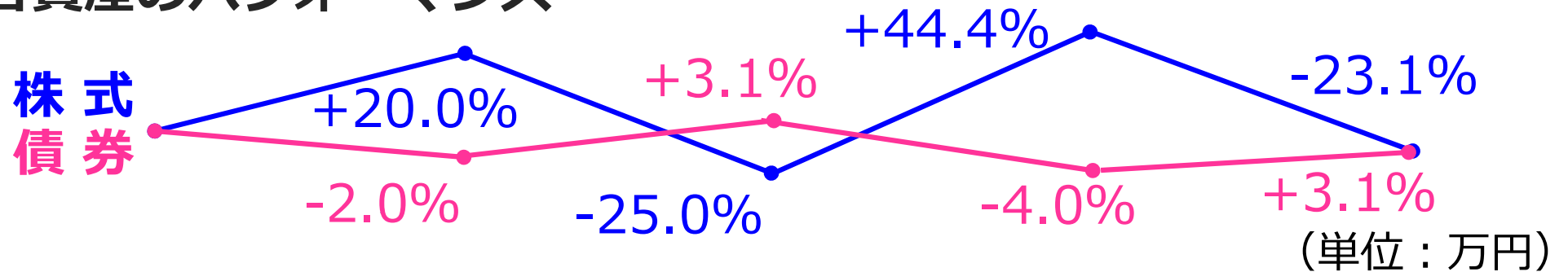


当初の配分比率を維持し、リスク水準を一定に保つメンテナンスが必要です。



ポートフォリオのメンテナンス：リバランスの効果

例えば、1,000万円を 株式30% 債券70% で分散投資した場合…
各資産のパフォーマンス

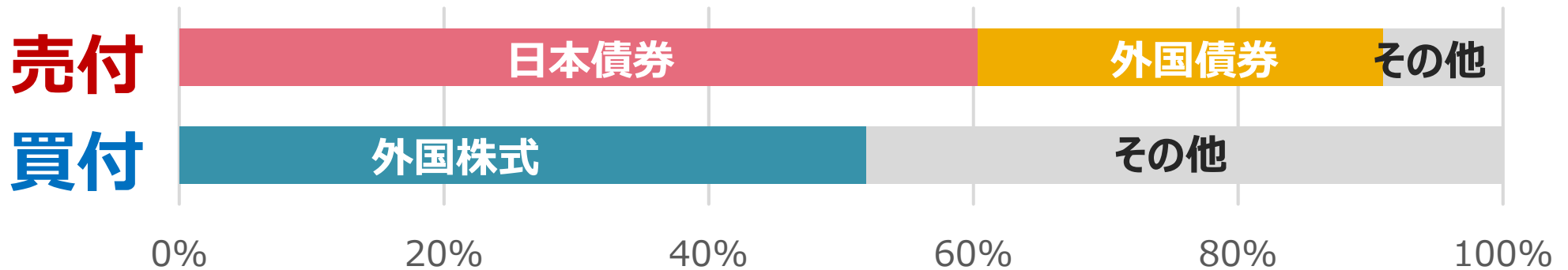


| | | | | | |
|-------------------|-------|-------|------------|--------------|--------------|
| リバランス無 ポートフォリオ | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
| | 1,000 | 1,046 | 977 | 1,069 | 1,000 |
| リバランス有 ポートフォリオ | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
| | 1,000 | 1,046 | 990 | 1,094 | 1,041 |



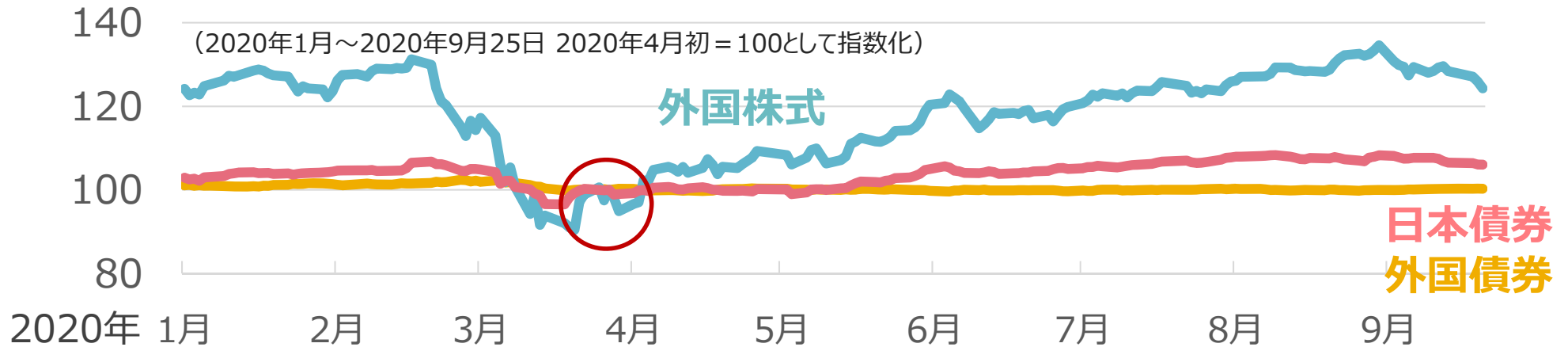
ご参考：ダイワファンドラップ直近のリバランス状況

2020年4月コロナショック時



※ 増額・減額を伴うリバランスを除く、フィー徴収を伴うリバランス売却を含む。

外国株式は外国株式セレクトと外国株式セレクトEM+との合計、外国債券は外国債券セレクトと外国債券セレクトEM+との合計



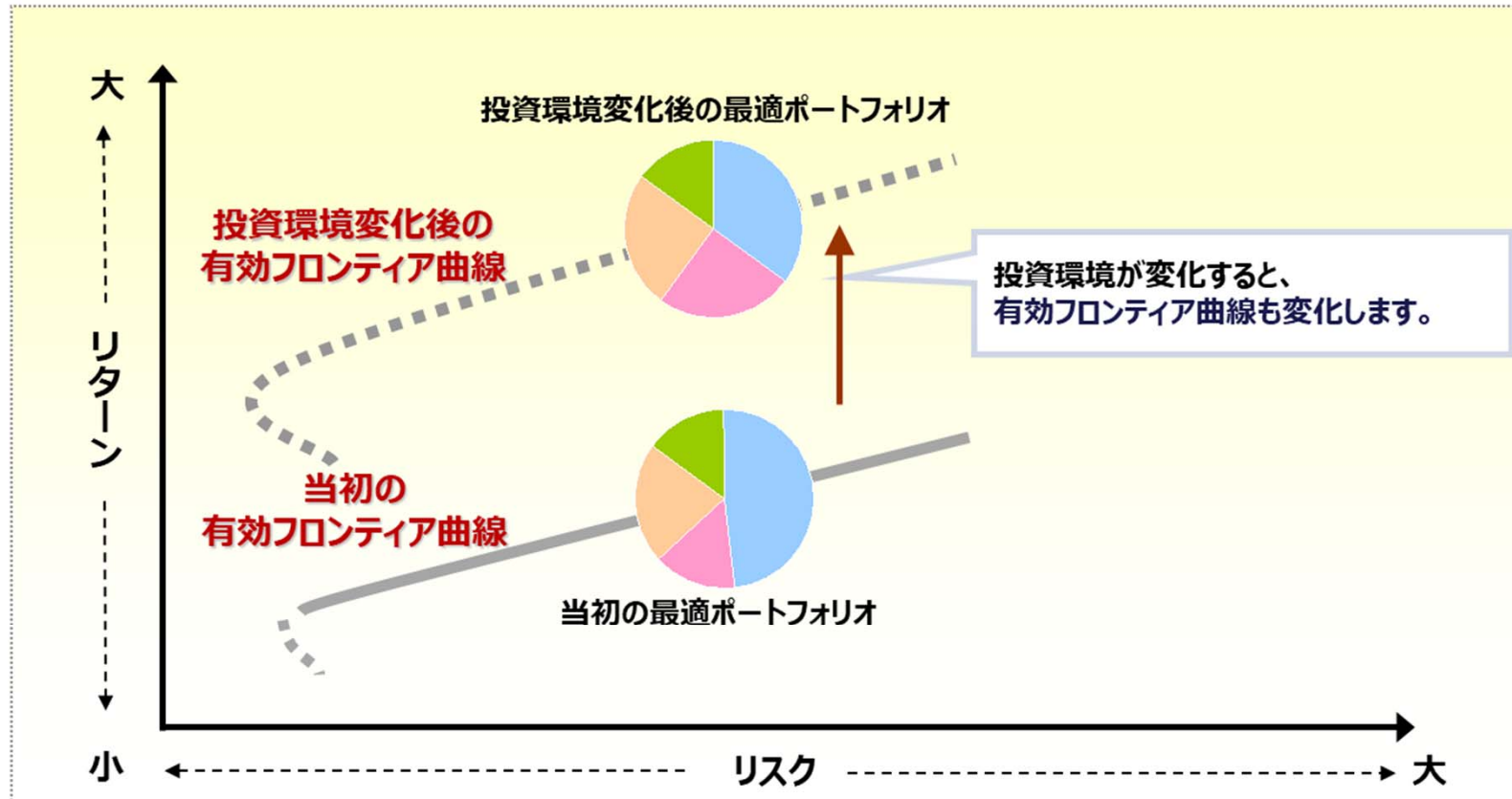
※当資料は、ダイワファンドラップ「セレクト・シリーズ」におけるリバランス状況を説明したものです。

※上記のパフォーマンスは、各資産のダイワファンドラップ専用投資信託の基準価額推移。対象ファンドは以下のとおり。日本債券：ダイワファンドラップ日本債券セレクト、外国株式：ダイワファンドラップ外国株式セレクトとダイワファンドラップ外国株式セレクトエマーシングプラスの単純平均 外国債券：ダイワファンドラップ外国債券セレクトとダイワファンドラップ外国債券セレクトエマーシングプラスの単純平均 データ出所：Bloomberg



ポートフォリオのメンテナンス：基準配分比率調整

- 投資環境や経済環境の変化に伴い、有効フロンティア曲線や最も効率的なポートフォリオの内容も変化します。



環境の変化に応じたポートフォリオのメンテナンス（基準配分比率の調整）が必要です。



ポートフォリオのメンテナンス：基準配分比率調整

基準配分比率調整の例

2008年 9月

長期的に世界経済の拡大が続くとしつつ、
足元で下振れリスクの高まりを考慮。

外国株式の比率を
下げ、内外債券の
比率を高めた。

2020年 4月

株式は、各国の経済対策によって
リターンが期待できると想定。

多くのスタイルで株式
の比率が高まった。



ラップ口座サービスのラインナップ(2021年3月現在)

| | ダイワファンドラップ オンライン | ダイワファンドラップ | プレミアム特約 | ダイワ アドバンスラップ |
|-----------|--|---|---|---|
| | お取扱いできる取引コース | ・「ダイワ・コンサルティング」コース ・「ダイワ・ダイレクト」コース | ・「ダイワ・コンサルティング」コース ・「ダイワ・ダイレクト」コース | ・「ダイワ・コンサルティング」コース ・「ダイワ・ダイレクト」コース |
| 契約金額 | 1万円以上 1円単位 | 300万円以上 1万円単位 | ・3,000万円以上 1万円単位 ・運用口ごとに300万円以上 1万円単位 | 1億円以上 100万円単位 (コア運用を5,000万円以上組入れが条件) |
| 契約の終了 | 契約締結日の3ヶ月後から可能 | 契約締結日の3ヶ月後から可能 | 契約締結日の3ヶ月後から可能 | 毎月末可能 |
| 運用スタイル | 専用投資信託を用いた国際分散投資 7スタイル | 専用投資信託を用いた国際分散投資、 25スタイル | 専用投資信託を用いた国際分散投資、 500スタイル超 | コア運用：専用投資信託を用いた国際分散投資 サテライト運用：常設型は専用投資信託4スタイル、国内株式2スタイル。相場テーマに応じてスポット型を適宜設定。 |
| 運用口の設定 | — | — | ・複数の「運用口」を設定可能 ・「運用口」単位で運用スタイルの保有、管理、付帯サービスの設定可能 | — |
| リスク水準 | 「より安定」から「より積極」まで、計7種類 | 「安定」から「積極」まで、計5種類 | 「より安定」から「より積極」まで、計7種類 | コア運用は運用チームが投資環境に応じてポートフォリオを変更。安定運用型、スタンダード型から1種類を選択。 |
| 資産クラス | 国内外株式、国内外債券、国内外REIT(外国資産に関しては為替ヘッジの有無をご用意) | 国内外株式、国内外債券、国内外REIT、コモディティ、ヘッジファンド | 国内外株式、国内外債券、国内外REIT、コモディティ、ヘッジファンド(外国資産に関しては為替ヘッジの有無をご用意) | 国内外株式、国内外債券、国内外REIT、コモディティ、ヘッジファンド |
| 投資対象ファンド | 資産クラスごとに1本の計9本設定 | 資産クラスごとに1本の計10本設定 | ・セレクト・シリーズ、インデックス・シリーズ、インデックスプラス・シリーズ、アクティブ・シリーズの4タイプ計38本設定 ・上記投資対象ファンドから資産クラスごとに最大3銘柄選択可能 | ・コア運用の投資対象ファンドは、セレクト・シリーズ、インデックス・シリーズの計20本 ・上記対象ファンドから、運用チームが投資環境に応じて選択 ・サテライト運用の投資対象ファンドはアクティブファンド |
| フィー (手数料) | 1.1% (年率・税込) | 資産評価額 (契約金額) に応じた料率 | 資産評価額 (契約金額) およびリスク水準に応じた料率 | 資産評価額 (契約金額) に応じた料率 成功報酬型、固定報酬型から選択可 |
| 運用報告 | ・日次：Webサービス ・四半期：運用報告書 兼 取引残高報告書 ※電子交付のみ | ・日次：Webサービス ・月次：マンスリーレポート (電子交付) ・四半期：運用報告書 | ・日次：Webサービス ・月次：マンスリーレポート (書面交付も可能) ・四半期：運用報告書 | ・日次：Webサービス ・月次：マンスリーレポート (「四半期運用報告書」作成月を除く)、投資見解資料 ・四半期：四半期運用報告書 |
| 付帯サービス | ・定期積立サービス (毎月1万円～) | ・定期受取サービス ・寄附サービス | ・定期受取サービス ・寄附サービス ・暦年贈与サービス ・相続時受取人指定サービス | — |

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。巻末の「お取引にあたっての手数料等およびリスクについて」をご覧ください。



ご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用

- ダイワファンドラップの運用・管理等に係る料金として、ご契約資産の評価額に応じてファンドラップ・フィーをお支払いいただきます。
- お支払い方法は、計算期間ごと（1計算期間は3カ月間。ただし初回計算期間は「運用開始日」から「契約締結日から数えて3回目の月末日まで」にファンドラップ・フィーをご契約資産より引落しする「**契約資産内枠徴収方式**」となります。

【ファンドラップ・フィー年率税込（カッコ内は税抜）】

| 資産評価額（契約金額） | より安定 | 安定 | やや安定 | バランス | やや積極 | 積極 | より積極 |
|--------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1,000万円以下の部分 | 1.100% (1.00%) | 1.540% (1.40%) | 1.540% (1.40%) | 1.540% (1.40%) | 1.540% (1.40%) | 1.540% (1.40%) | 1.760% (1.60%) |
| 1,000万円超 3,000万円以下の部分 | 0.935% (0.85%) | 1.320% (1.20%) | 1.375% (1.25%) | 1.430% (1.30%) | 1.485% (1.35%) | 1.540% (1.40%) | 1.760% (1.60%) |
| 3,000万円超 1億円以下の部分 | 0.715% (0.65%) | 0.880% (0.80%) | 0.990% (0.90%) | 1.100% (1.00%) | 1.210% (1.10%) | 1.320% (1.20%) | 1.485% (1.35%) |
| 1億円超 3億円以下の部分 | 0.660% (0.60%) | 0.770% (0.70%) | 0.825% (0.75%) | 0.880% (0.800%) | 0.935% (0.85%) | 0.990% (0.90%) | 1.100% (1.00%) |
| 3億円超 5億円以下の部分 | 0.550% (0.50%) | 0.605% (0.55%) | 0.638% (0.58%) | 0.660% (0.60%) | 0.682% (0.62%) | 0.715% (0.65%) | 0.770% (0.70%) |
| 5億円超の部分 | 0.385% (0.35%) | 0.418% (0.38%) | 0.429% (0.39%) | 0.429% (0.39%) | 0.429% (0.39%) | 0.440% (0.40%) | 0.473% (0.43%) |

※プレミアム特約をお申込みの場合、ヒアリングシートへのご回答等に基づき、「より安定」と「より積極」をご選択いただくことが可能となります。

間接的にご負担いただく費用

- ファンドラップ・フィーの他に、投資対象となる投資信託に関して信託報酬などの間接的にご負担いただく費用がかかります。詳細は「投資信託目論見書（交付目論見書）」をご確認ください。



ご負担いただく費用イメージ

- 以下は、契約金額別によるファンドラップ・フィーを比較したものです。

(年率、税込)

| ファンドラップ・フィー試算 | | | | | | | |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ご契約金額 (資産評価額) | より安定 | 安定 | やや安定 | バランス | やや積極 | 積極 | より積極 |
| 3,000万円 | 0.9900% | 1.3933% | 1.4300% | 1.4667% | 1.5033% | 1.5400% | 1.7600% |
| 5,000万円 | 0.8800% | 1.1880% | 1.2540% | 1.3200% | 1.3860% | 1.4520% | 1.6500% |
| 1億円 | 0.7975% | 1.0340% | 1.1220% | 1.2100% | 1.2980% | 1.3860% | 1.5675% |
| 3億円 | 0.7058% | 0.8580% | 0.9240% | 0.9900% | 1.0560% | 1.1220% | 1.2558% |
| 5億円 | 0.6435% | 0.7568% | 0.8096% | 0.8580% | 0.9064% | 0.9592% | 1.0615% |
| 10億円 | 0.5143% | 0.5874% | 0.6193% | 0.6435% | 0.6677% | 0.6996% | 0.7673% |
| 20億円 | 0.4496% | 0.5027% | 0.5242% | 0.5363% | 0.5484% | 0.5698% | 0.6201% |
| 30億円 | 0.4281% | 0.4745% | 0.4924% | 0.5005% | 0.5086% | 0.5265% | 0.5711% |

※上記試算は、ご契約資産の資産評価額の区分けに該当する金額にファンドラップ・フィーの料率（ご契約資産が全て同じ運用スタイルと仮定）をそれぞれ乗じて計算した、1年間(365日分)の試算値です。詳細は、ダイワファンドラップサービス内容説明書に記載の料率、計算期間、計算方法等をご確認ください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等の諸費用について

- ・「ダイワファンドラップ」（「ダイワファンドラップ」及び「ダイワファンドラップオンライン」の両方を含みます。以下同じ。）にてお客さまにお支払いいただく費用は、契約資産の時価評価額に対して最大1.76%（年率・税込）となります。その他に、投資対象となる投資信託に関して運用管理費用（信託報酬）などの間接的にご負担いただく費用がかかりますが、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ・「ダイワアドバンスラップ」の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限0.825%（税込）、固定報酬型：上限1.375%（税込））を乗じて計算します。ダイワSMA（「ダイワSMA」および「ダイワSMAプライベート・アセットアロケーション・サービス」の両方を含みます。以下同じ。）の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限3.3%（税込）、固定報酬型：上限4.4%（税込））を乗じて計算します。さらに成功報酬型の場合は、運用成果の額の最大22%（税込）が加算されます。その他に、投資対象となる投資信託等に関して運用管理費用（信託報酬）などの間接的にご負担いただく費用がかかりますが、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。詳しくは、各商品の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面をご確認ください。

ご投資にあたってのリスク等

- ・投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行なうのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。
- ・「ダイワファンドラップ」、「ダイワアドバンスラップ」、「ダイワSMA」は投資一任契約に基づき、値動きのある有価証券に投資・運用するサービスであるため、契約資産の額（投資元本）が保証されるものではなく、金利・為替相場の変動および株式・債券の発行者の信用状況などが変化することにより、投資元本を下回る可能性があります。
- ・運用による損益は、すべて投資者であるお客さまに帰属します。

ご投資にあたっての留意点

- ・お客さまに運用をご提案する際に、あらかじめ契約締結前交付書面をお渡ししますので、お申込み前によくお読みください。
- ・また、お申込みの際には、各商品における「投資一任契約書（兼契約締結時交付書面）」、「サービス内容説明書」、「口座約款」、「サービス約款」等で契約内容の詳細をご確認ください。

- 商号等 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
- 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会